



2013年3月期 第3四半期

決算説明会

2013年1月31日

ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

連結業績ハイライト

1. **営業利益 6,000億円突破(13%増)**
2. **国内4,000万回線 目標を達成**

連結業績

売上高

(兆円)

2.5

2.4

3期連続過去最高
5%増

0

2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 (年度)
Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー(ヤフー等)
- その他

営業利益(償却前)

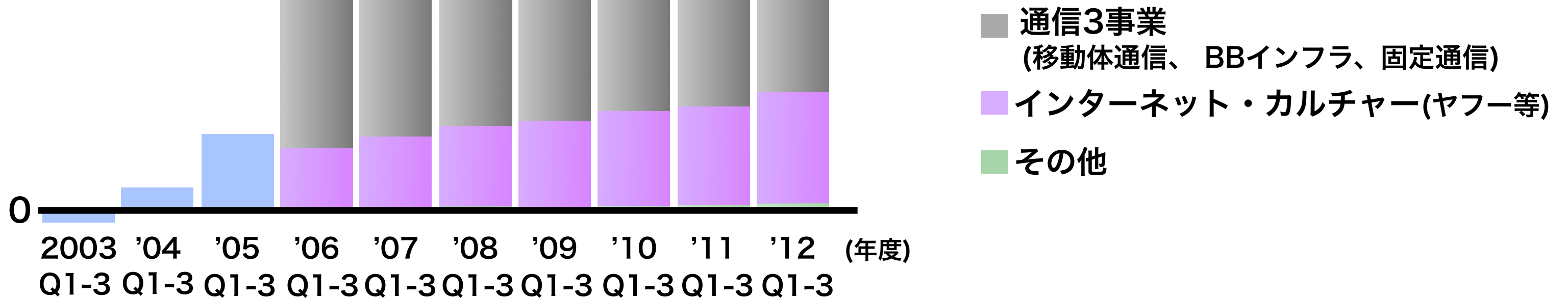
[EBITDA]

(億円)

8,905

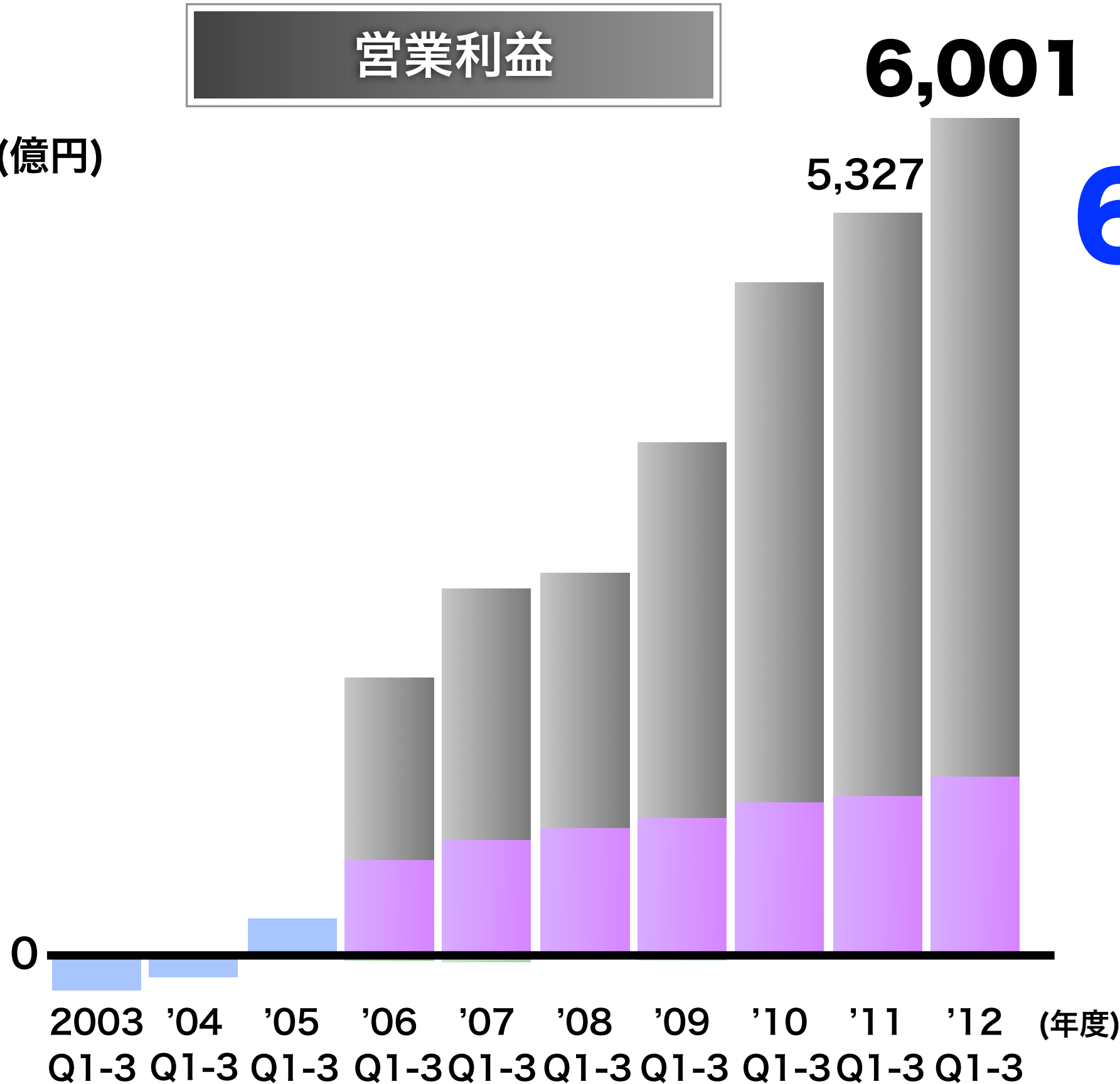
7,760

9期連続最高益
15%増



営業利益

(億円)

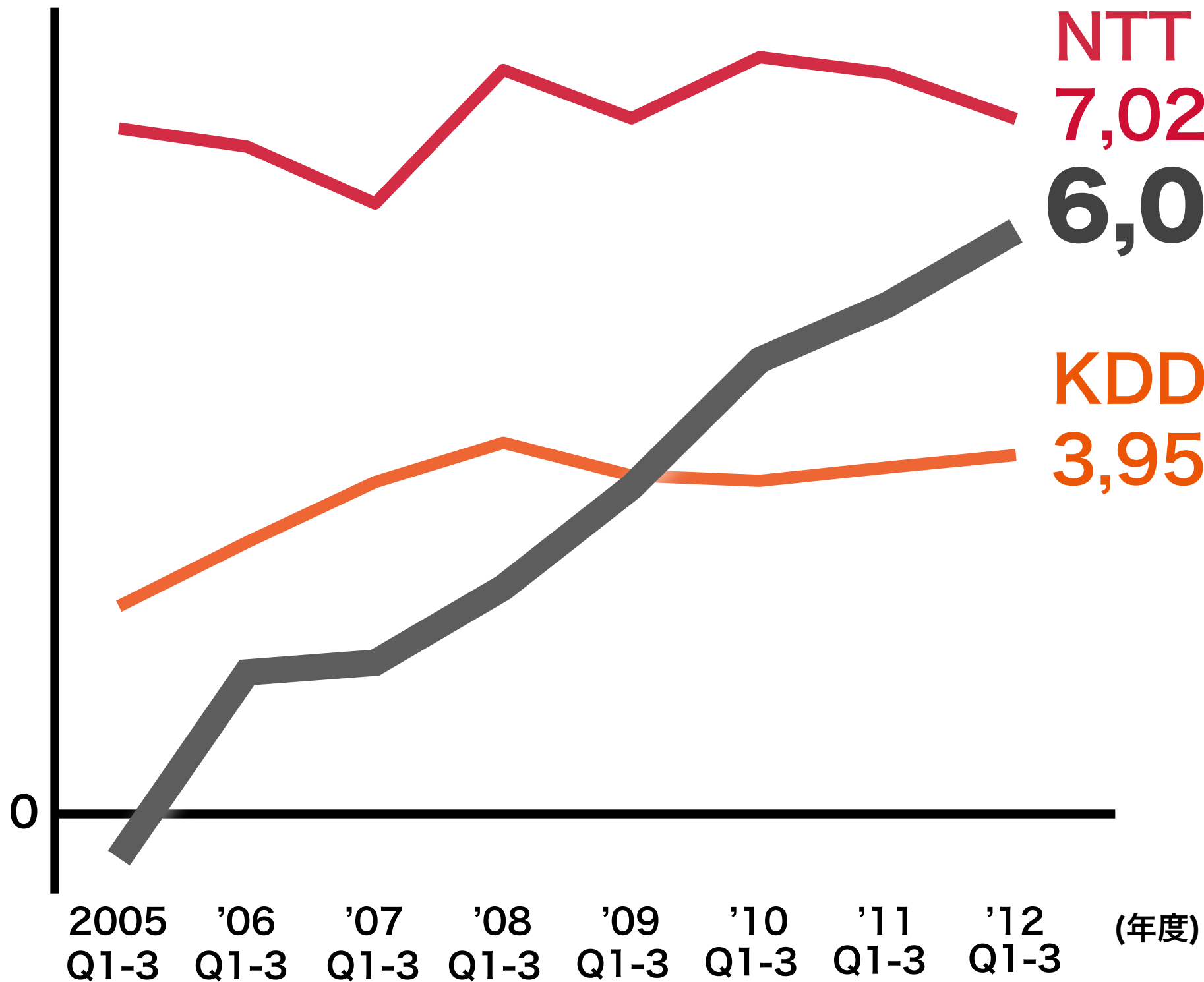


6,000億円を突破
8期連続最高益
13%増

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー(ヤフー等)
- その他

営業利益

(億円)



NTTドコモ

7,021

6,001 ソフトバンク

KDDI

3,955

ドコモに
迫る

※各社の開示資料を基に当社作成

営業利益増減率
(前年同期比)

+13%

大幅増益

+3%

▲6%

NTTドコモ

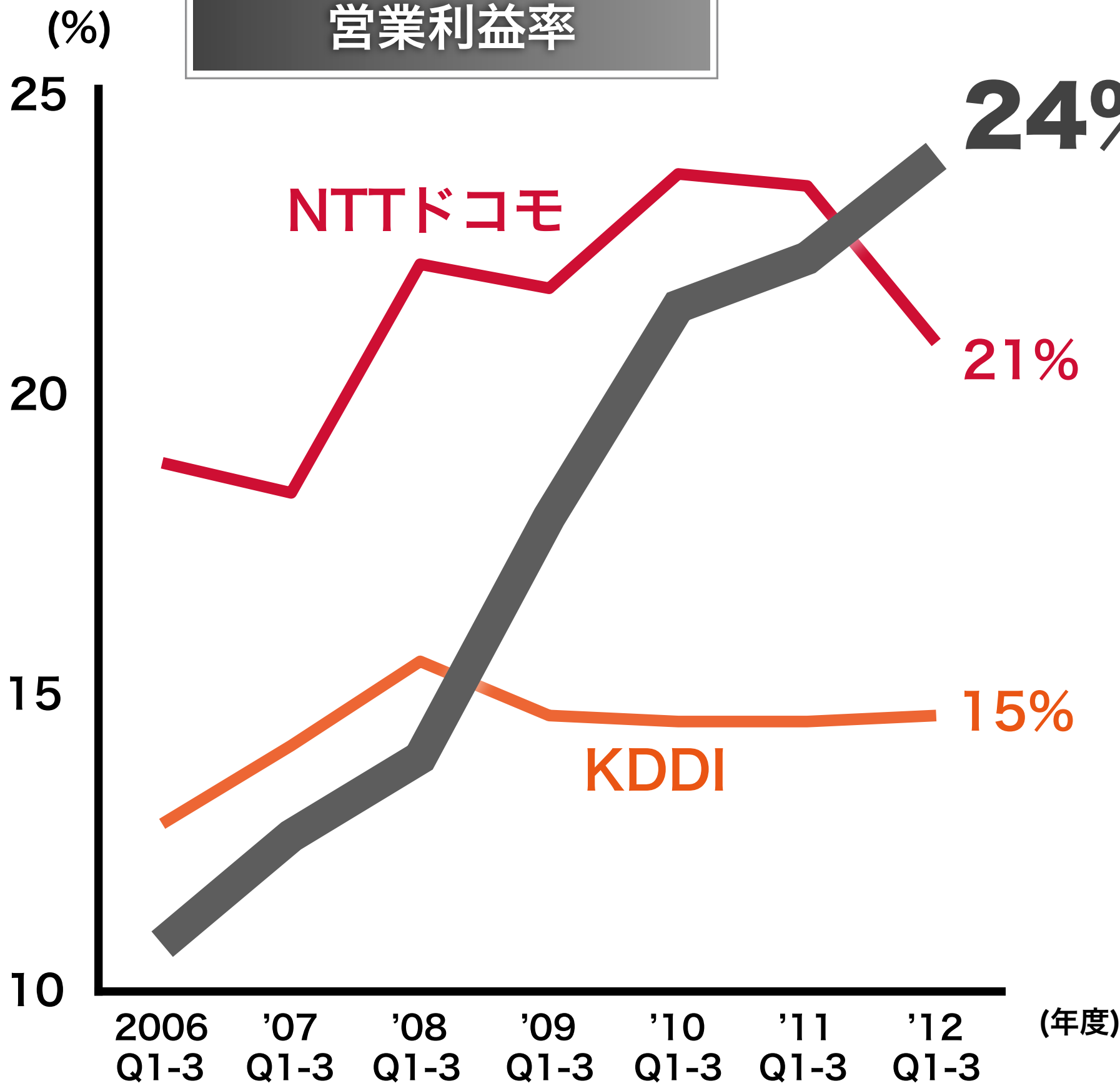
KDDI

ソフトバンク



※4月～12月期 (9ヶ月累計)
※各社の開示資料を基に当社作成

営業利益率



24% ソフトバンク

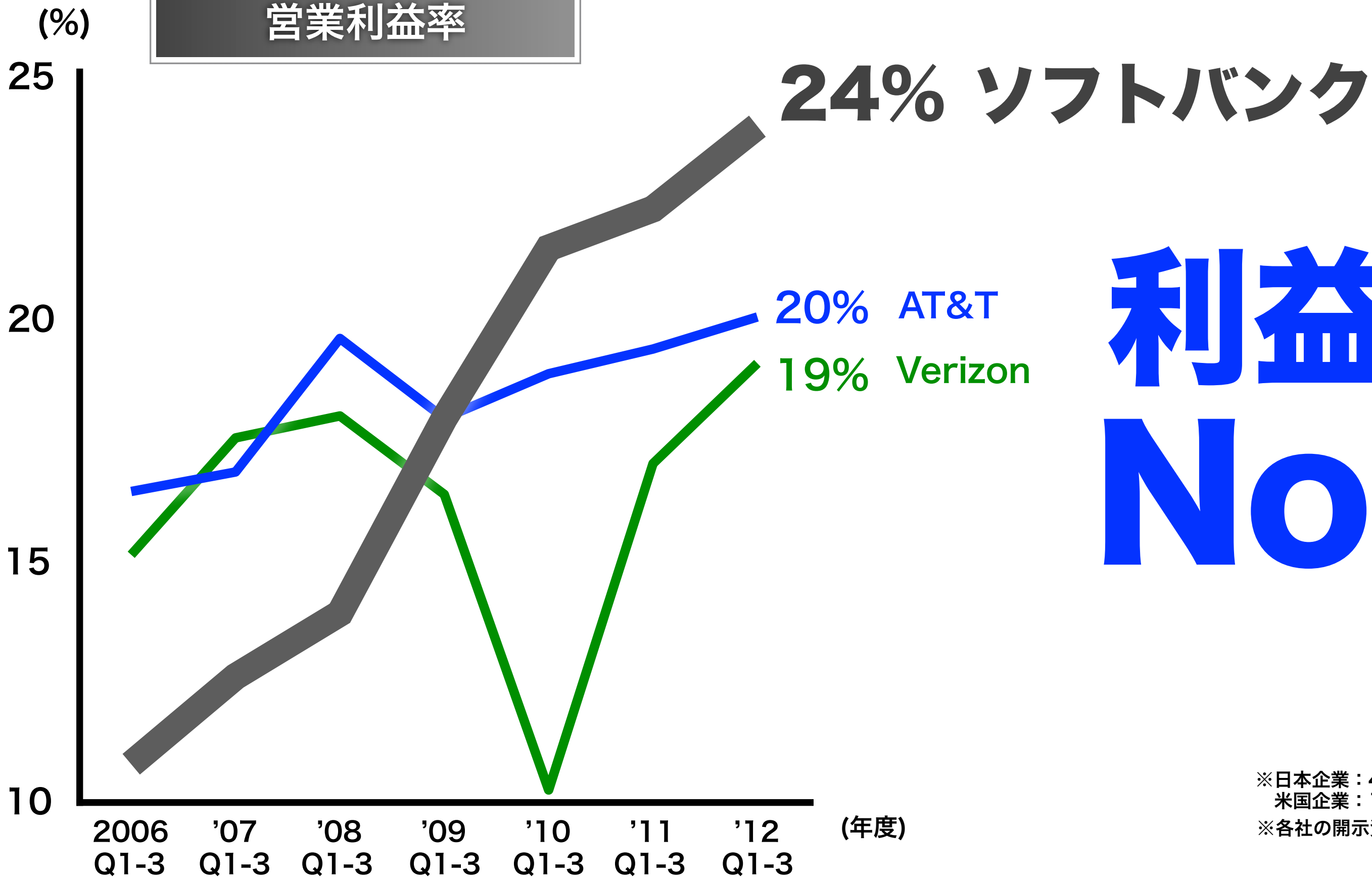
21%

15%

利益率
No.1

※各社の開示資料を基に当社作成

営業利益率



24% ソフトバンク

20% AT&T

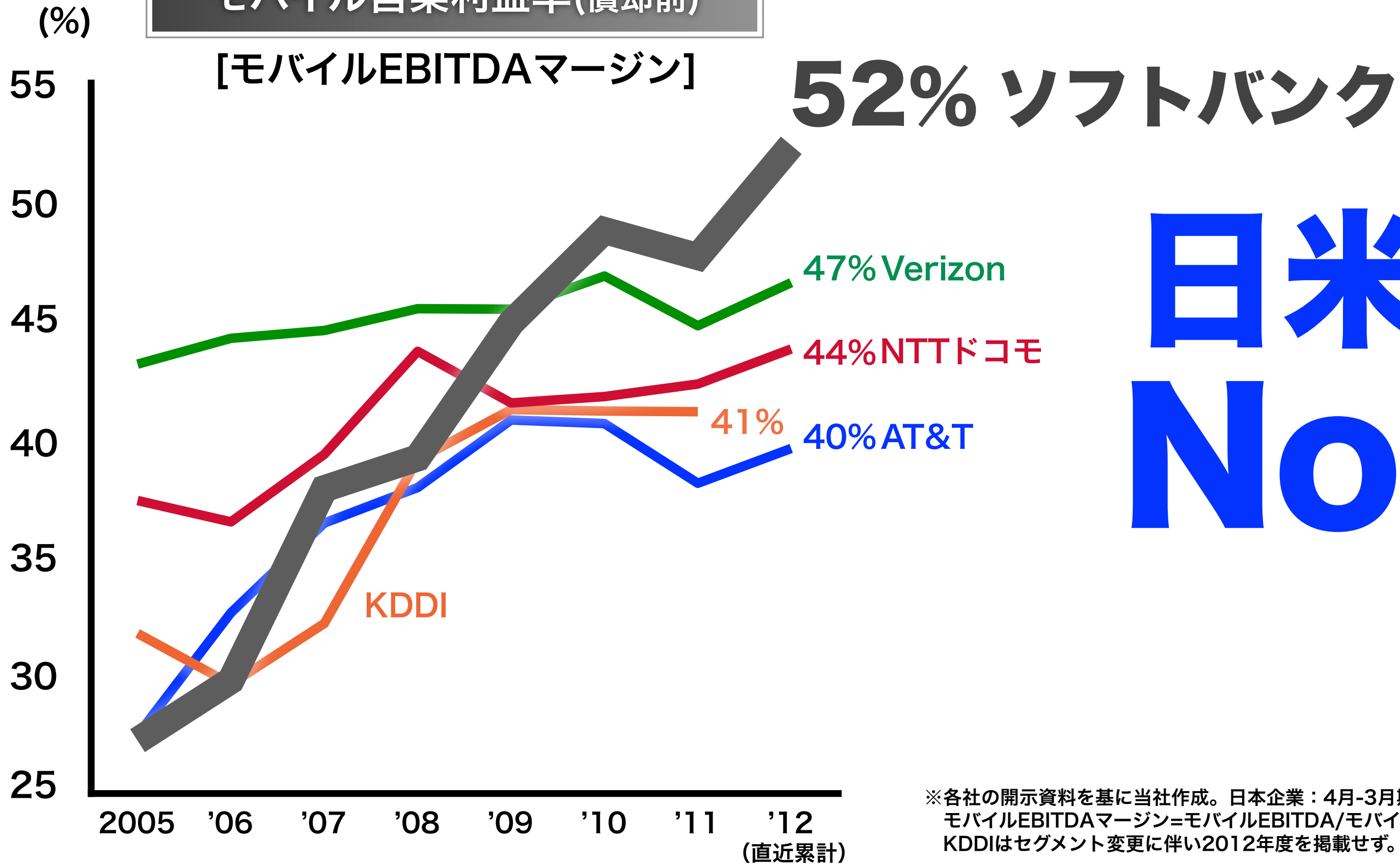
19% Verizon

利益率
No.1

※日本企業：4月～12月期(9ヶ月累計)
米国企業：1月～9月期(9ヶ月累計)
※各社の開示資料を基に当社作成

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]



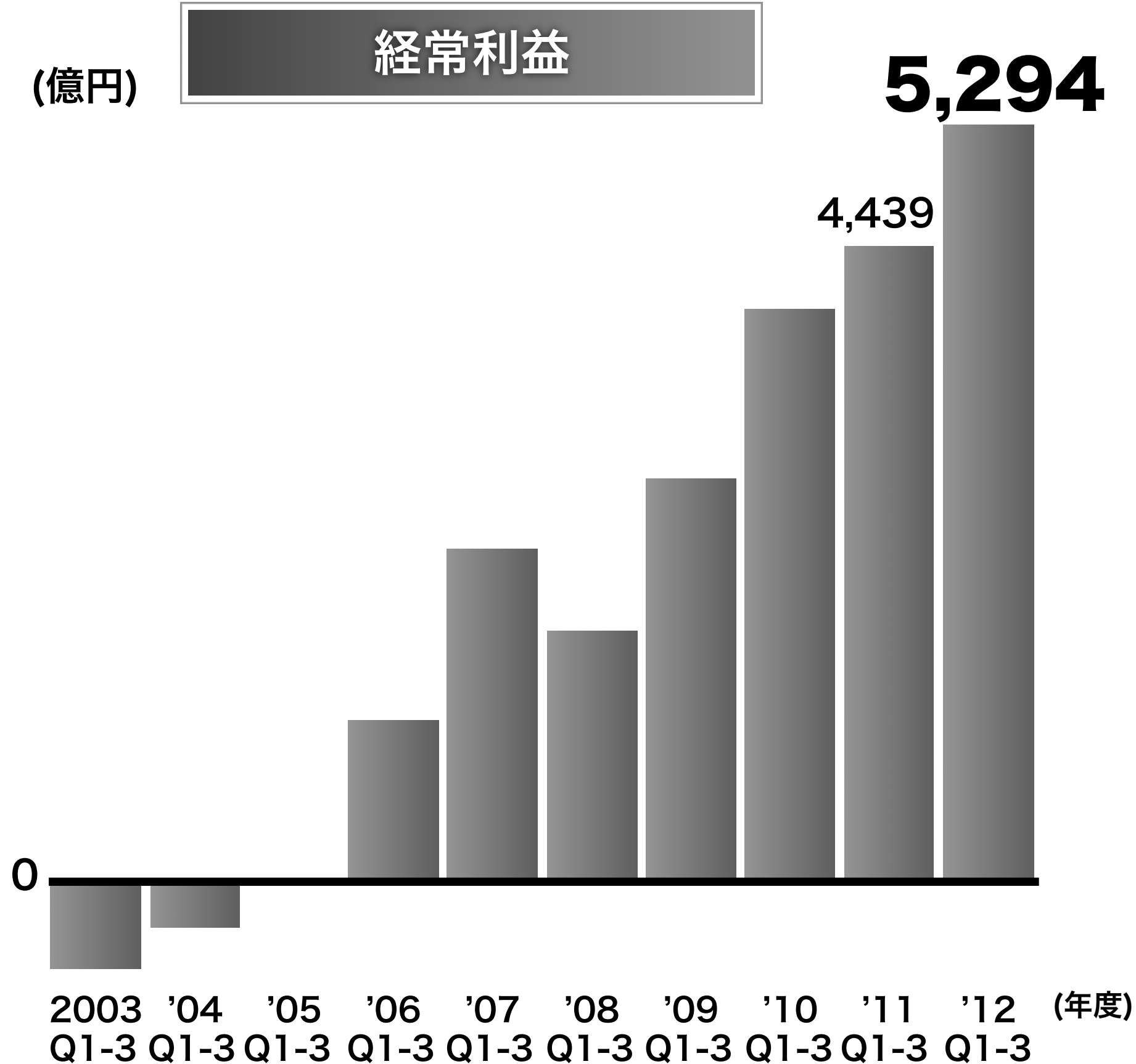
52% ソフトバンク

日米で No.1

※各社の開示資料を基に当社作成。日本企業：4月-3月期、米国企業：1月-12月期。
モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上
KDDIはセグメント変更に伴い2012年度を掲載せず。

(億円)

経常利益



4期連続最高益
19%増



当期純利益

(億円)

2,500
171
2,353

Renren Inc.上場などの影響

米国Yahoo! Inc.株式売却の影響

447

順調に推移



0

2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 (年度)
Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3

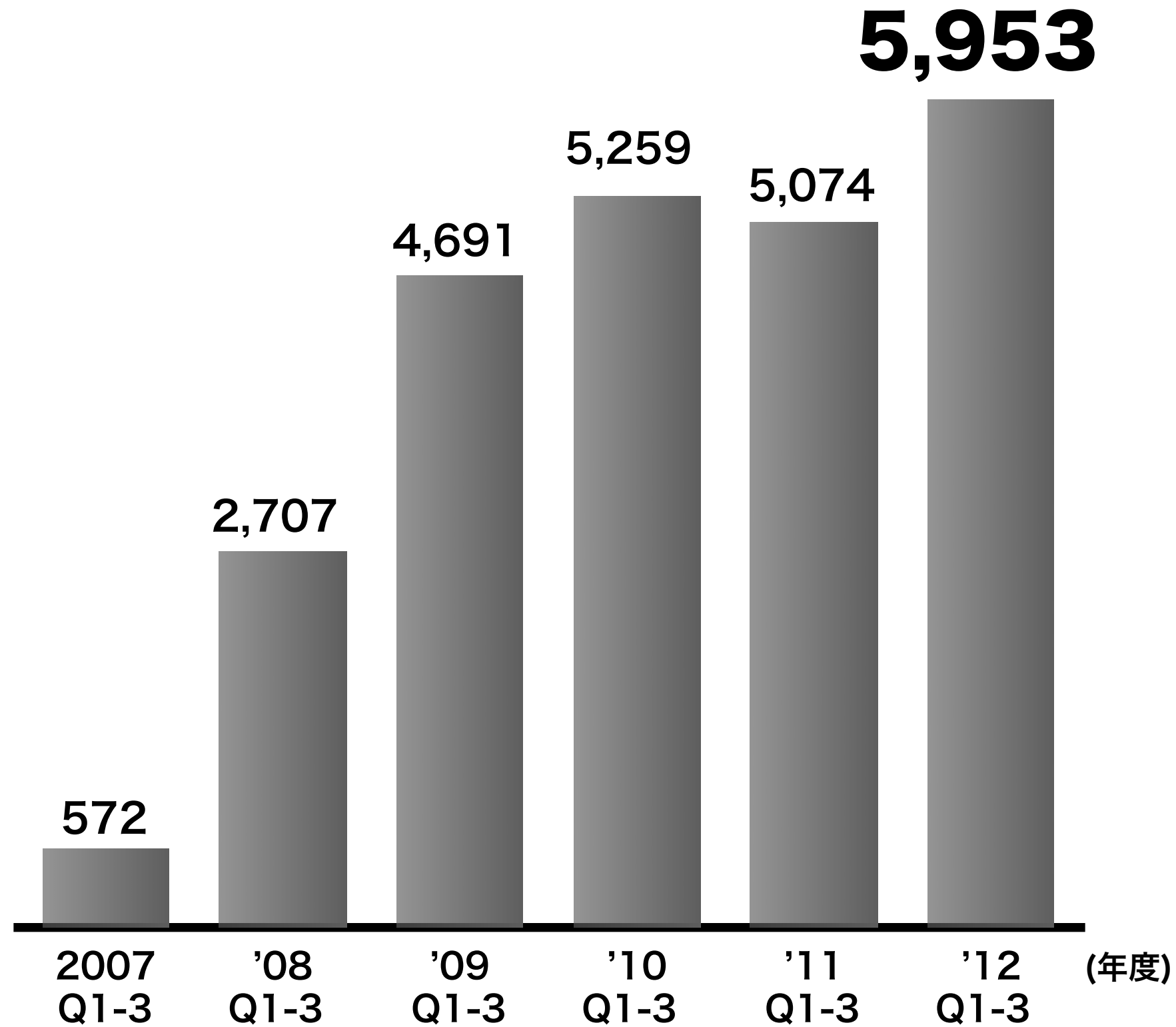
連結業績サマリー

(億円)

	'11年度Q3 (11年4~12月)	'12年度Q3 (12年4~12月)	増減	前期比
売上高	23,981	25,097	1,115	105%
営業利益(償却前) [EBITDA]	7,760	8,905	1,144	115%
営業利益	5,327	6,001	673	113%
経常利益	4,439	5,294	854	119%
当期純利益	2,500	2,353	▲147	94%

(億円)

営業キャッシュフロー



順調に推移



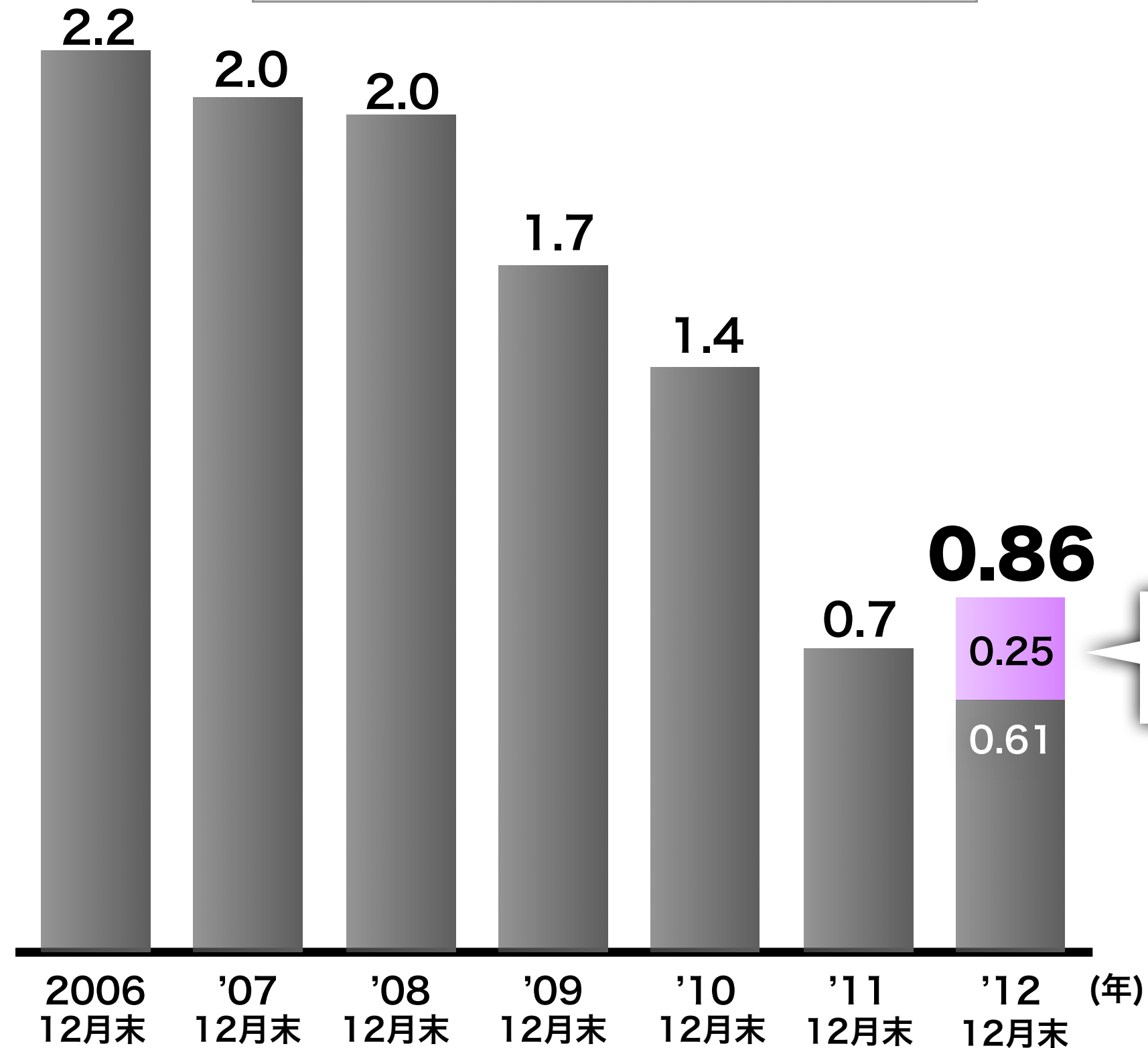
キャッシュフローの状況

(億円)

	'11年度Q3 (11年4~12月)	'12年度Q3 (12年4~12月)
営業キャッシュフロー	5,074	5,953
フリーキャッシュフロー	2,367	▲1,507
① 米国Yahoo! Inc. 株式売却	+571	-
② 米国Sprint 転換社債取得	-	▲2,493
③ 設備投資支払	▲3,576	▲4,327

純有利子負債

(兆円)



適正水準を維持

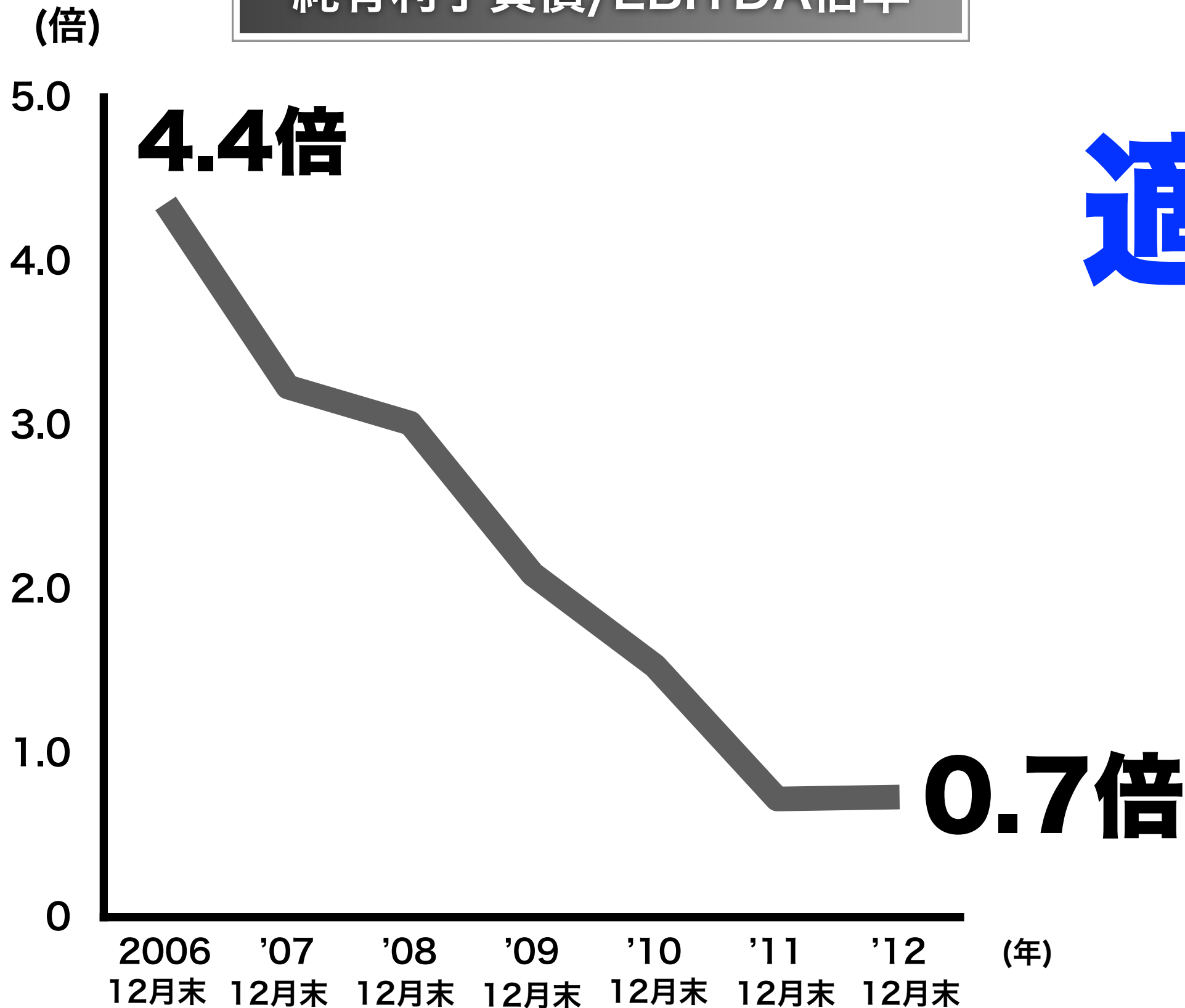
Sprint 転換社債取得に伴う支出

(2012年12月17日発表済)

※詳細は2012年12月17日付プレスリリースを参照

※リース債務除く

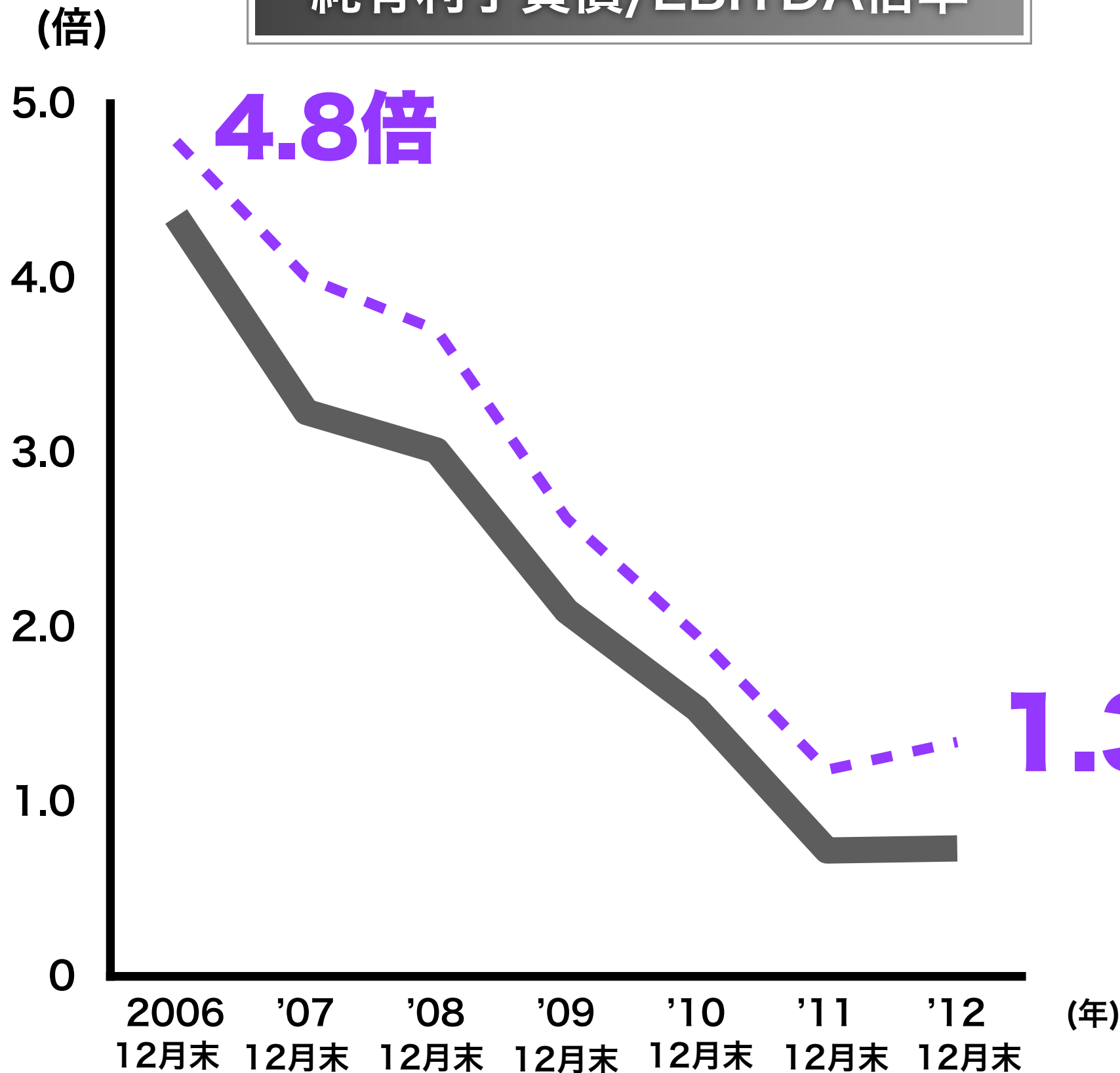
純有利子負債/EBITDA倍率



適正水準を
維持

※ファイナンスリース除く
各年末の純有利子負債÷各年度EBITDA
2012年度はQ1-3累計のEBITDAを3分の4倍し算出

純有利子負債/EBITDA倍率

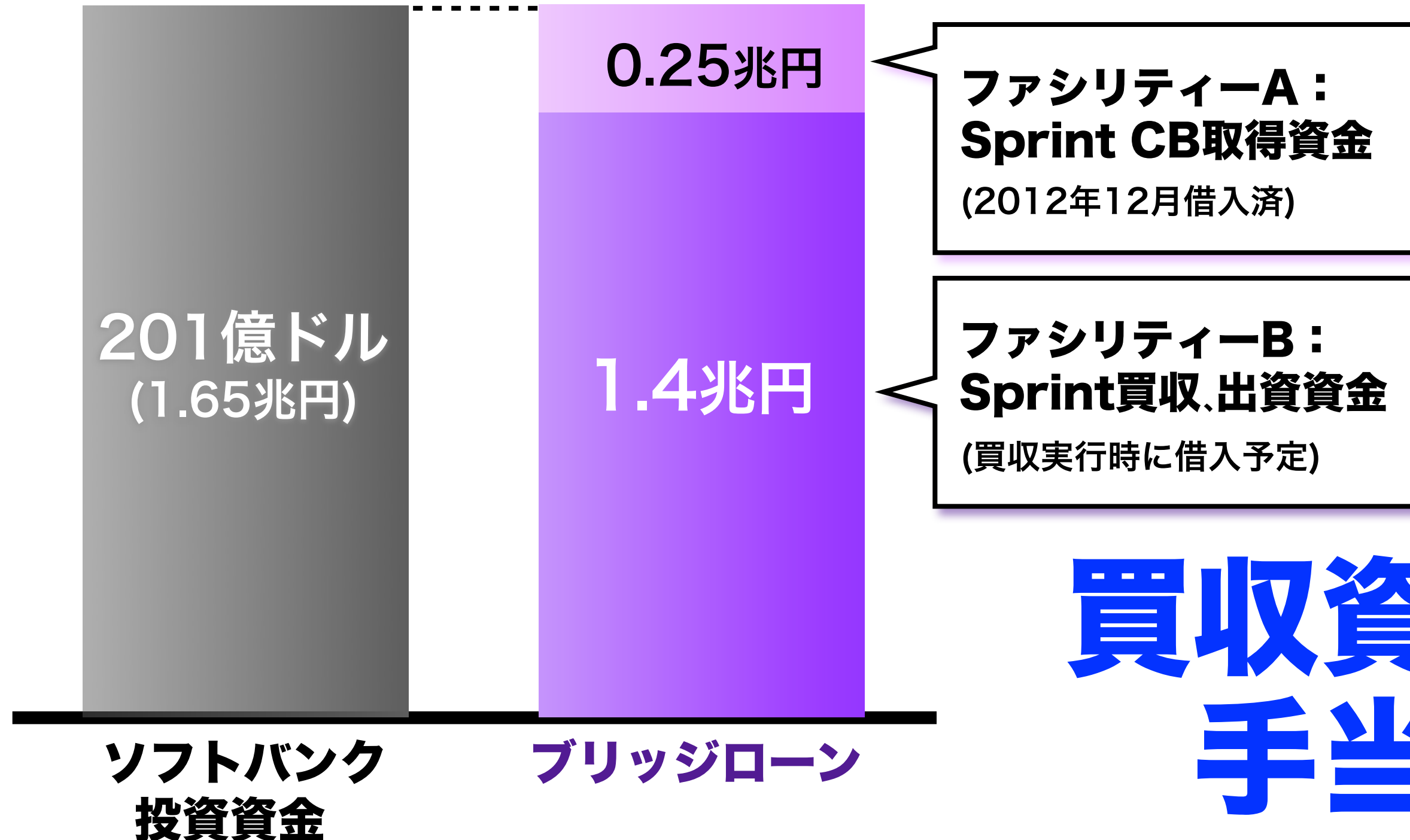


適正水準を
維持

1.3倍 リース含む

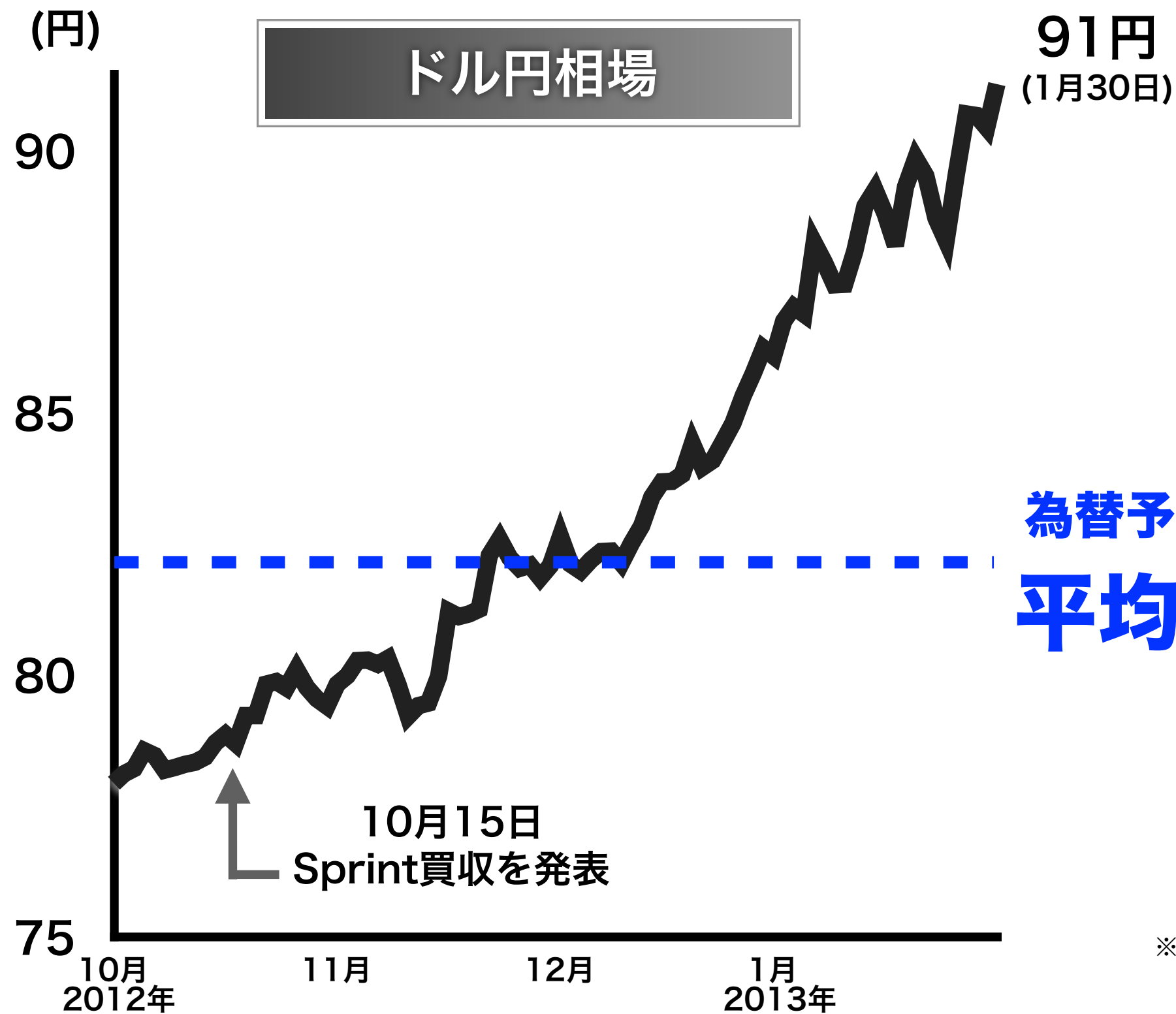
※ファイナンスリースを含む
各年末の純有利子負債÷各年度EBITDA
2012年度はQ1-3累計のEBITDAを3分の4倍し算出

Sprint買収の取引(1)



**買収資金を
手当済**

Sprint買収の取引(2)



**調達全額を
為替ヘッジ済**

為替予約締結レート
平均82.2円

※Sprint買収完了の時期に応じて、為替予約実行レートは微動する可能性あり

2012年度の配当政策

1株当たり配当金	'11年度	'12年度
中間配当	—	20円
期末配当	40円	20円 (予定)
年間配当	40円	40円 (予定)

配当方針に変更なし

**Sprint買収に伴い
国際会計基準(IFRS)を適用へ
(2013年度 第1四半期から)**

国内事業の状況

累計契約数

(万)

4,056万



1,522万



SoftBank

1,000万

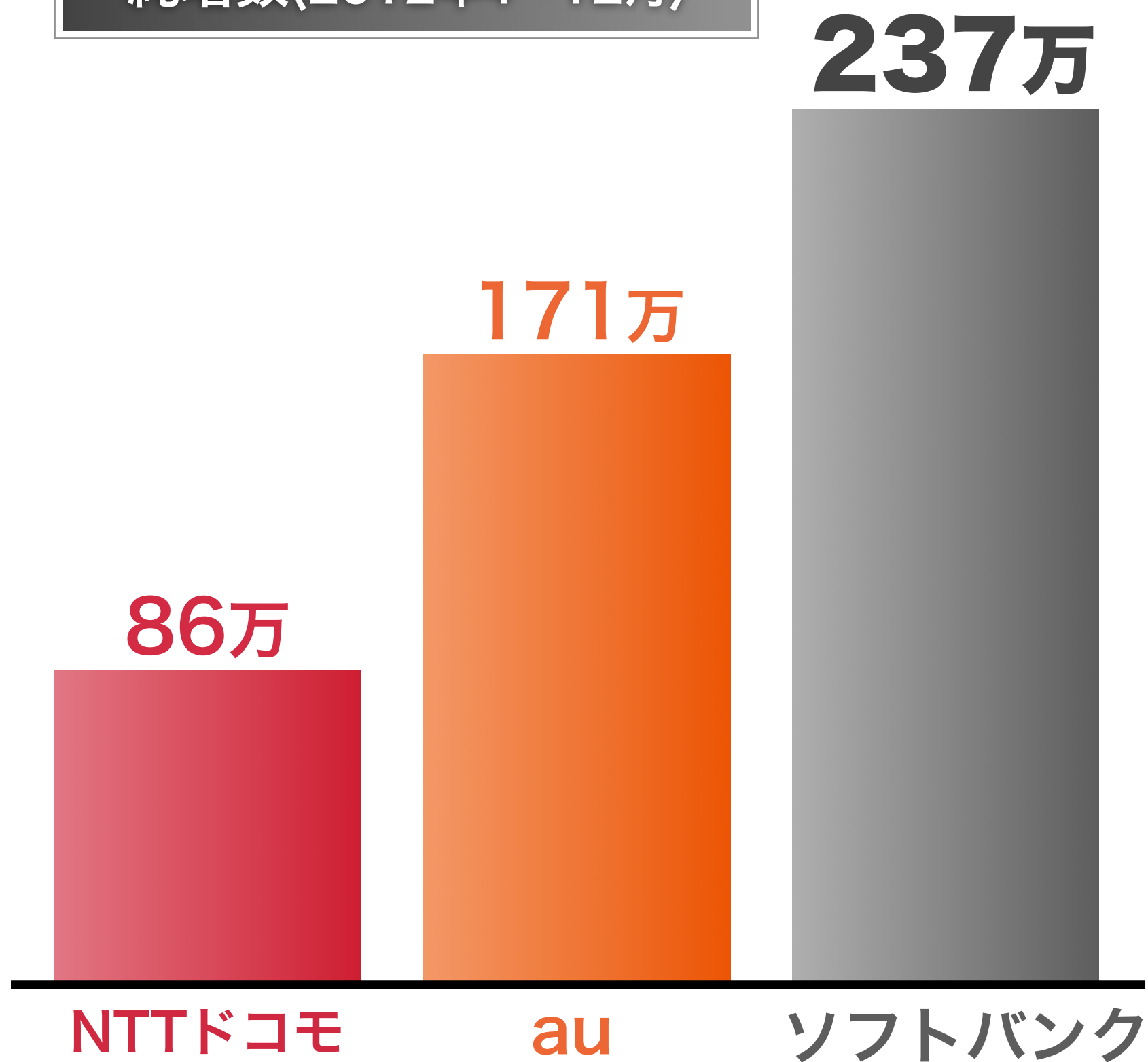
2006年4月

2012年12月

国内
4,000万回線
目標達成

(2010年10月 目標発表)

純増数(2012年4~12月)



純増No.1



※各社の開示資料を基に当社作成

年間純増数ランキング

2008年

2009年

2010年

2011年

2012年

1位

SoftBank

SoftBank

SoftBank

SoftBank

SoftBank

2位

NTTドコモ

NTTドコモ

NTTドコモ

NTTドコモ

au

3位

au

au

au

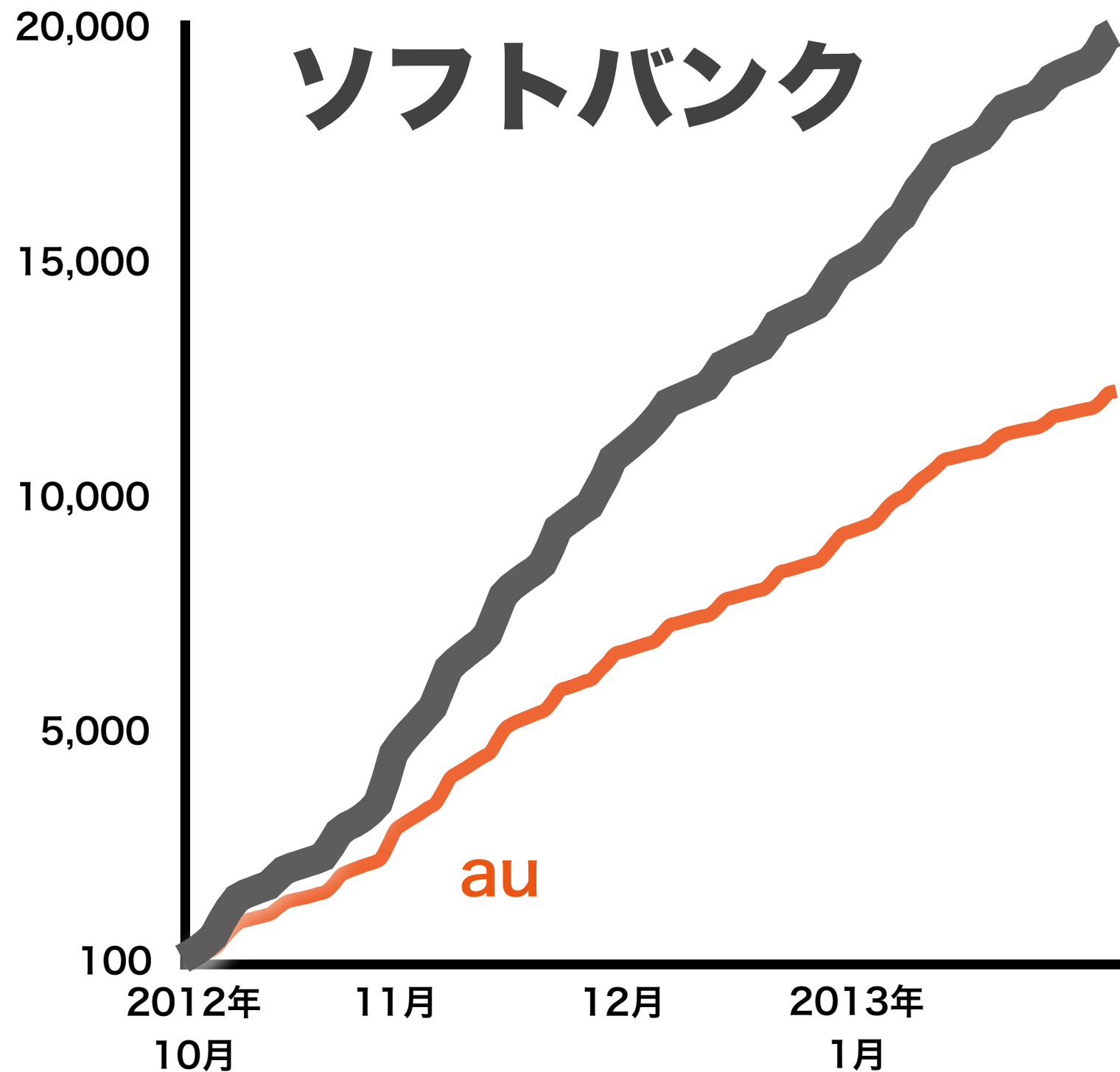
au

NTTドコモ

5年連続 純増No.1

iPhone 5 累計総販売実績

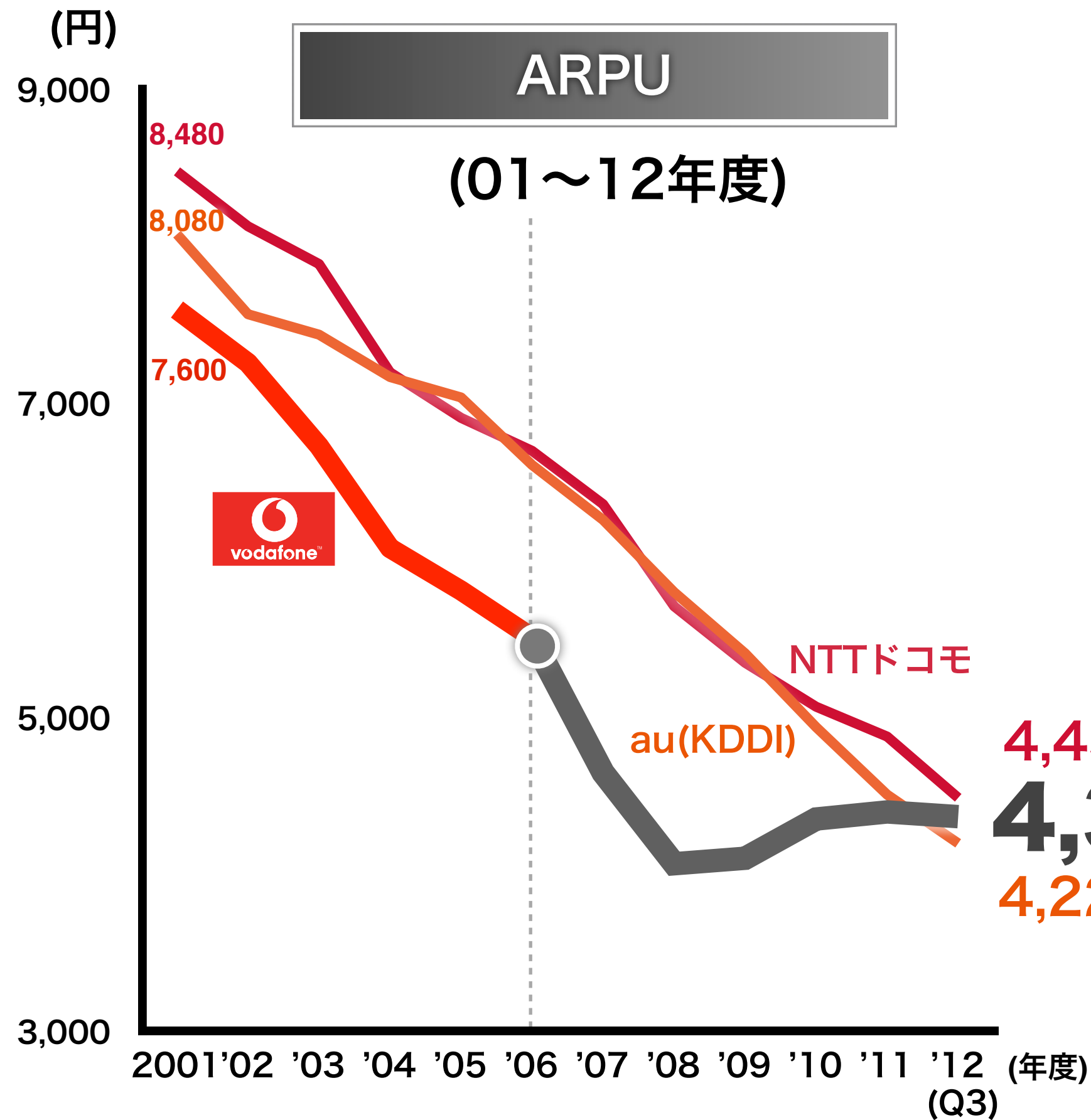
(2012年10月1日時点の総販売台数を100とした指数)



iPhone 5で auを圧倒



※外部調査会社による主要量販店での販売台数調査



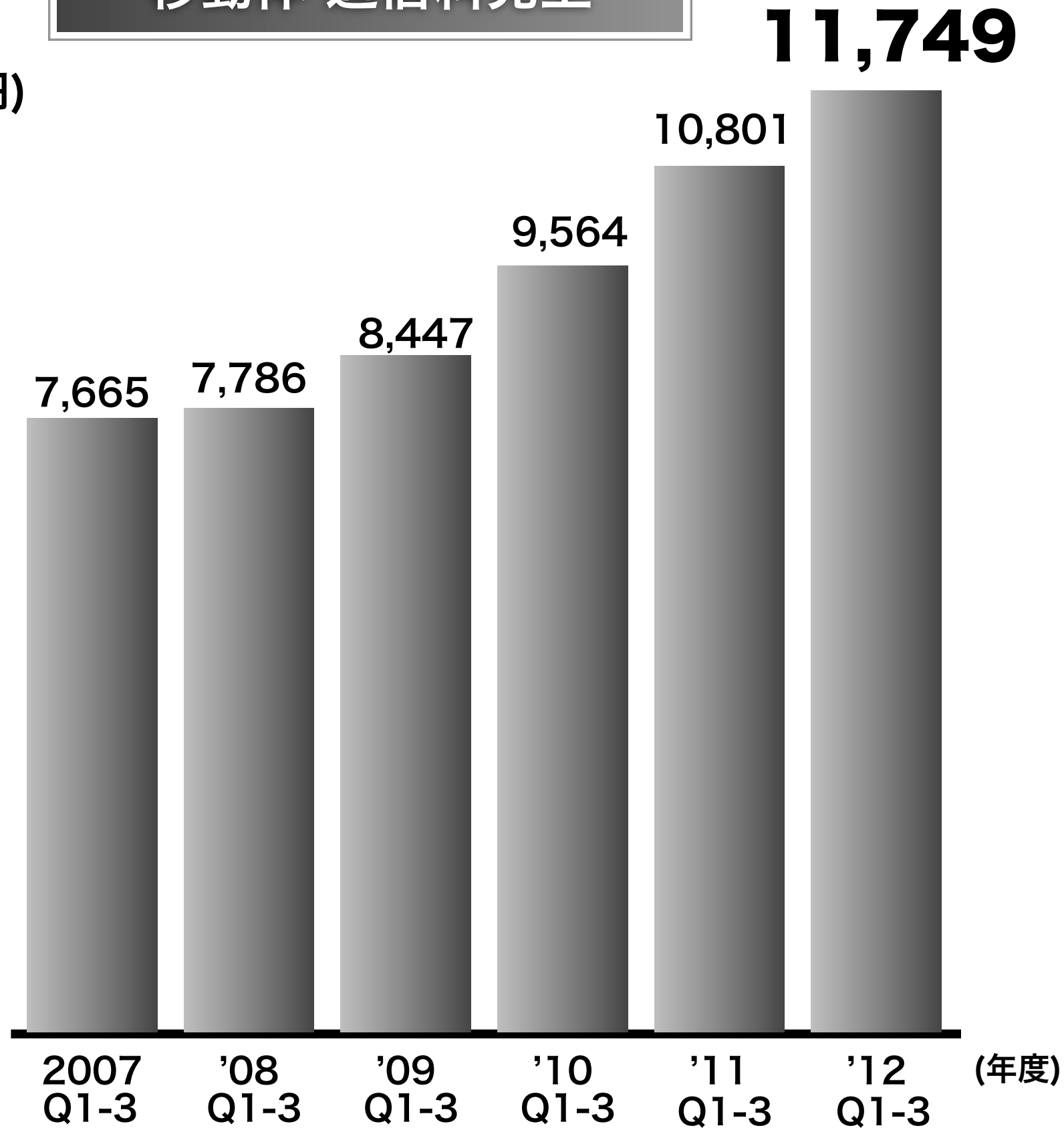
**唯一の
増加傾向**

4,430円
4,370円 = SoftBank
4,220円

※ARPUは通信モジュールを除く。各社の開示資料を基に当社作成。
 ※ドコモの2012年度は、音声ARPUとパケットARPUの合計。
 スマートARPUを含まず。
 ※auの2012年度は、パーソナルセグメントの通信ARPU。

移動体 通信料売上

(億円)

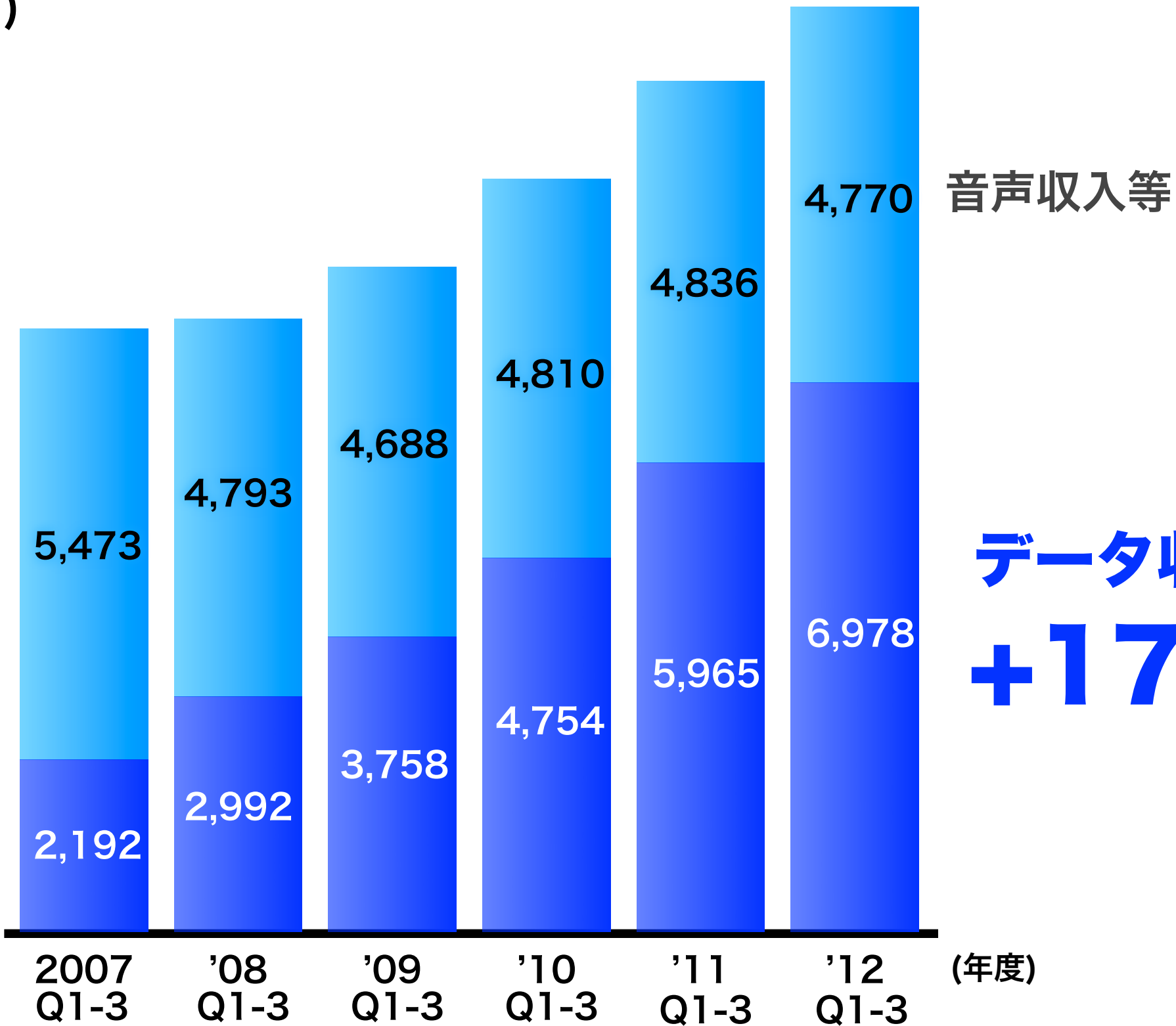


順調に増加
9%増収



移動体 通信料売上

(億円)



データが大幅増収

データ収入
+17%



移動体 通信料売上増減率
(前年同期比)

+9%

唯一の増収

▲2%

▲4%

NTTドコモ

au

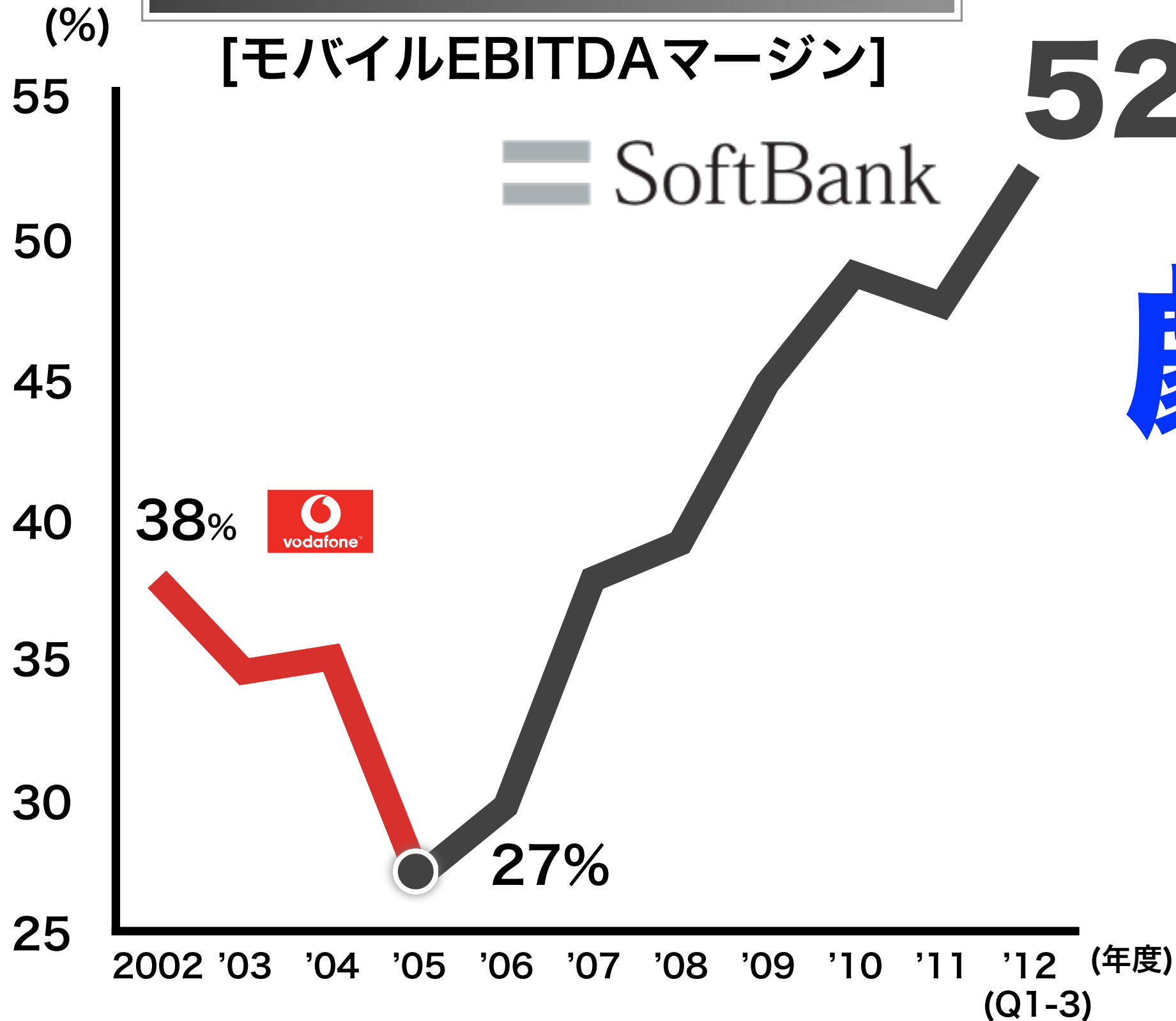
ソフトバンク

※4月～12月期(9カ月累計)
※各社の開示資料を基に当社作成
auはパーソナルセグメントの通信料収入(モバイル)

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]

SoftBank



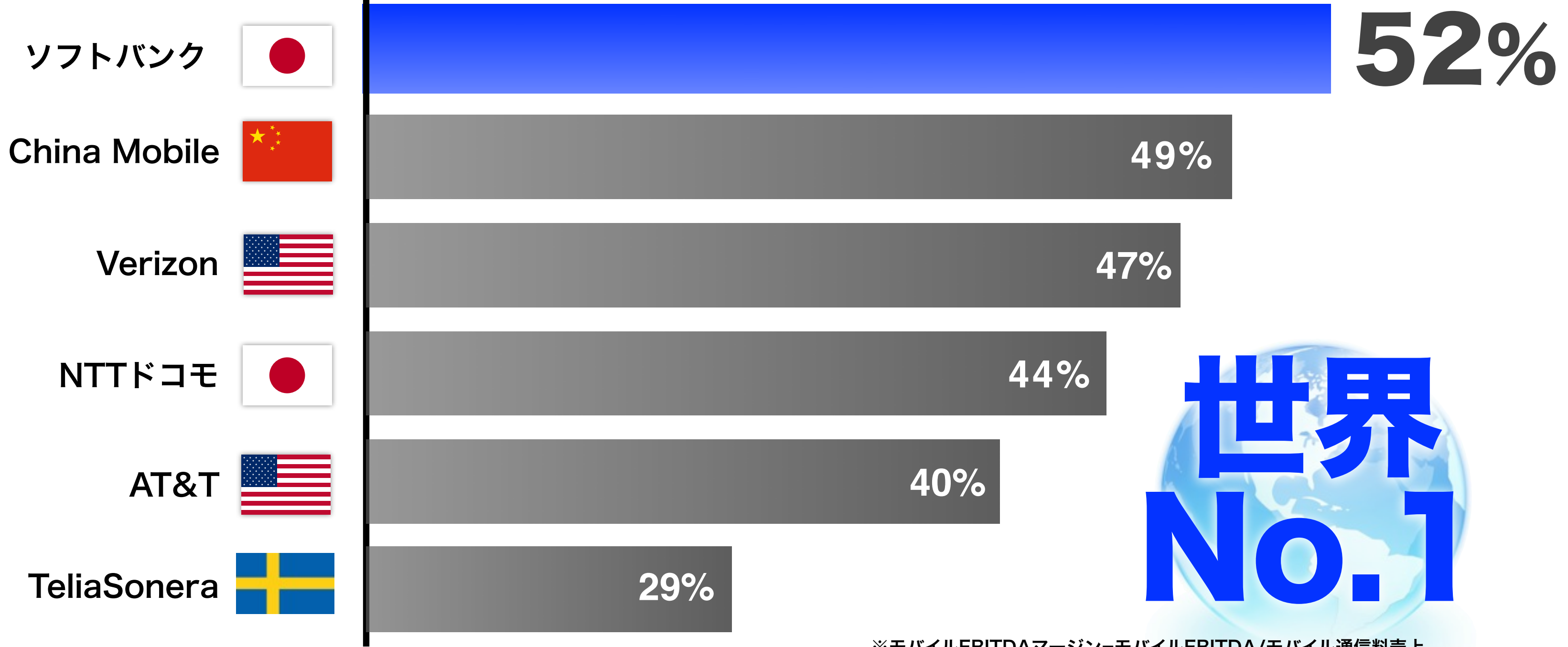
劇的に改善

(収益性が2倍に)

※モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]



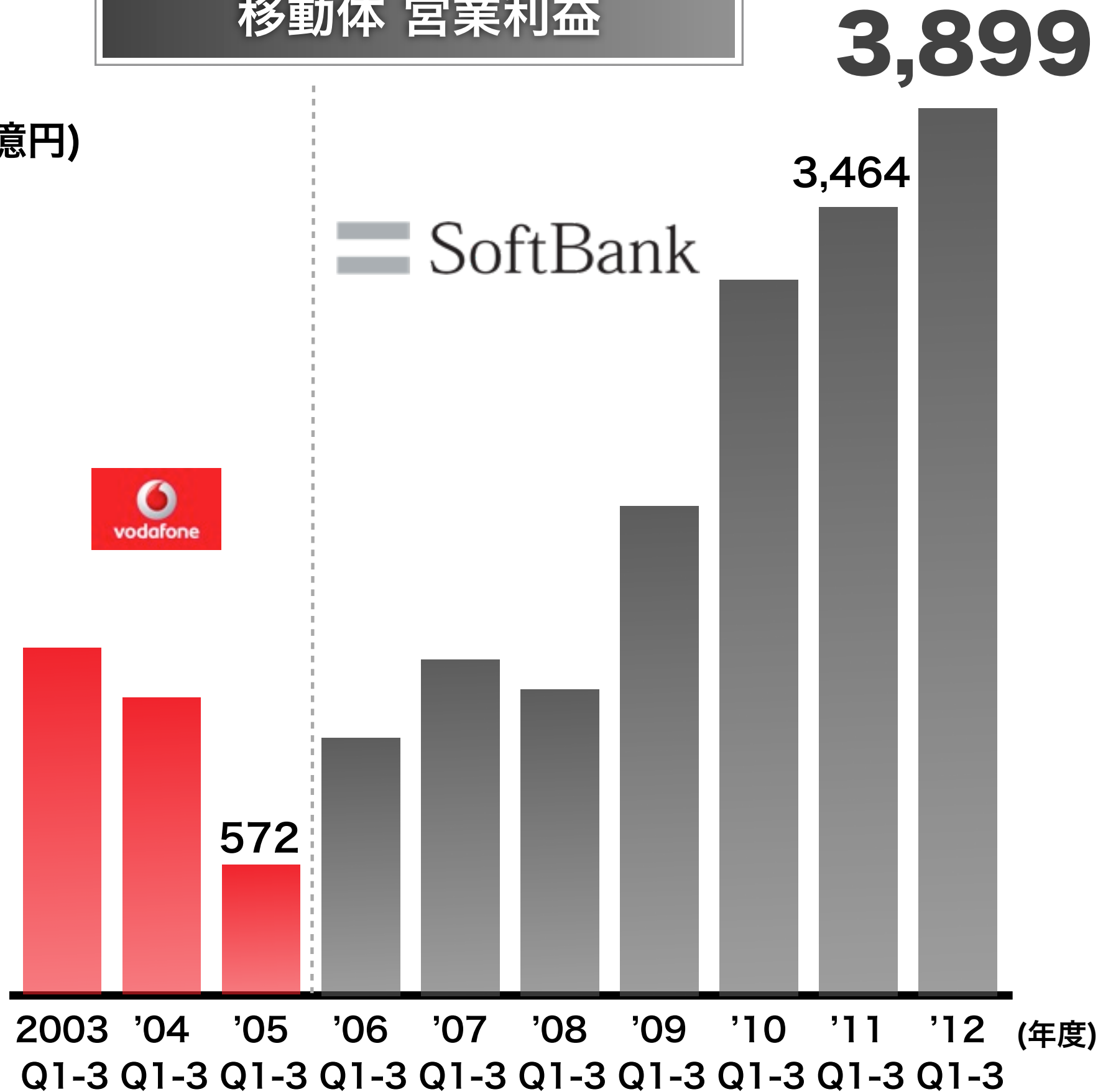
世界
No.1

15%

※モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上
モバイル通信料売上、モバイルEBITDAの開示がある企業のみと比較。
2012年度 直近累計。

移動体 営業利益

(億円)

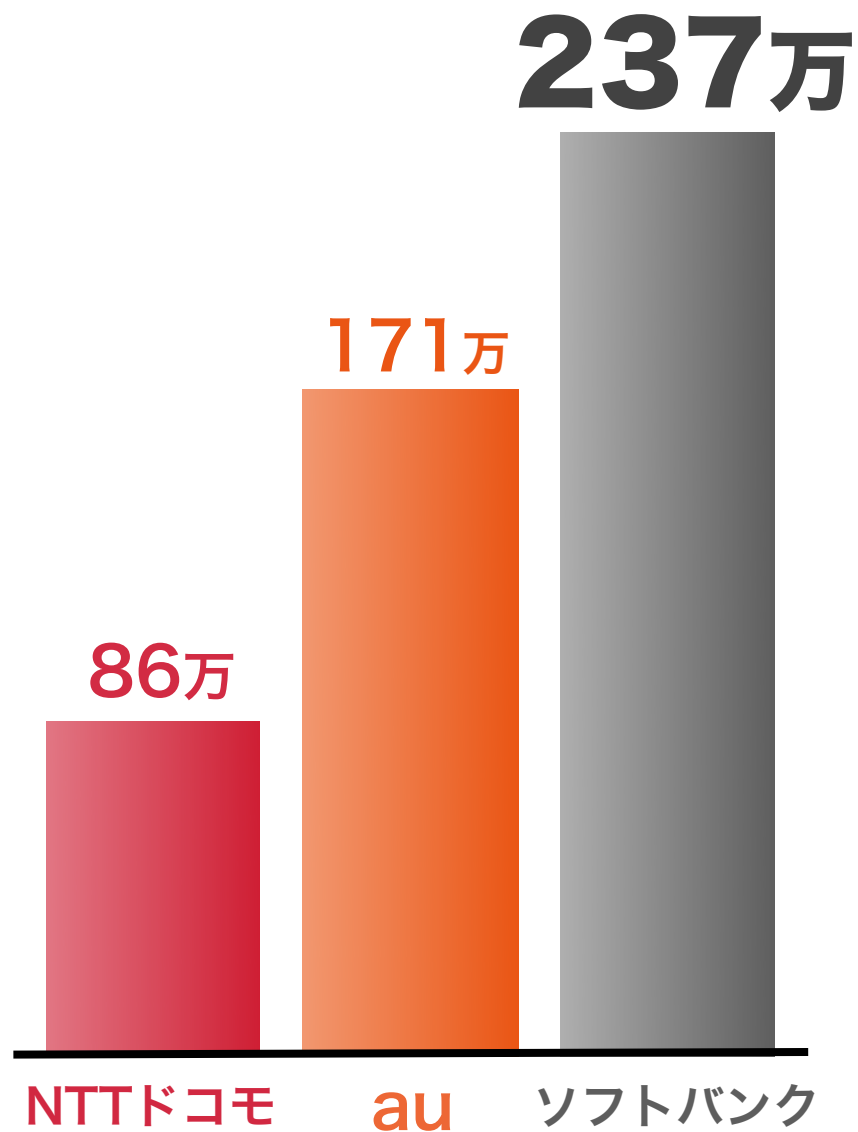


買収後 7倍



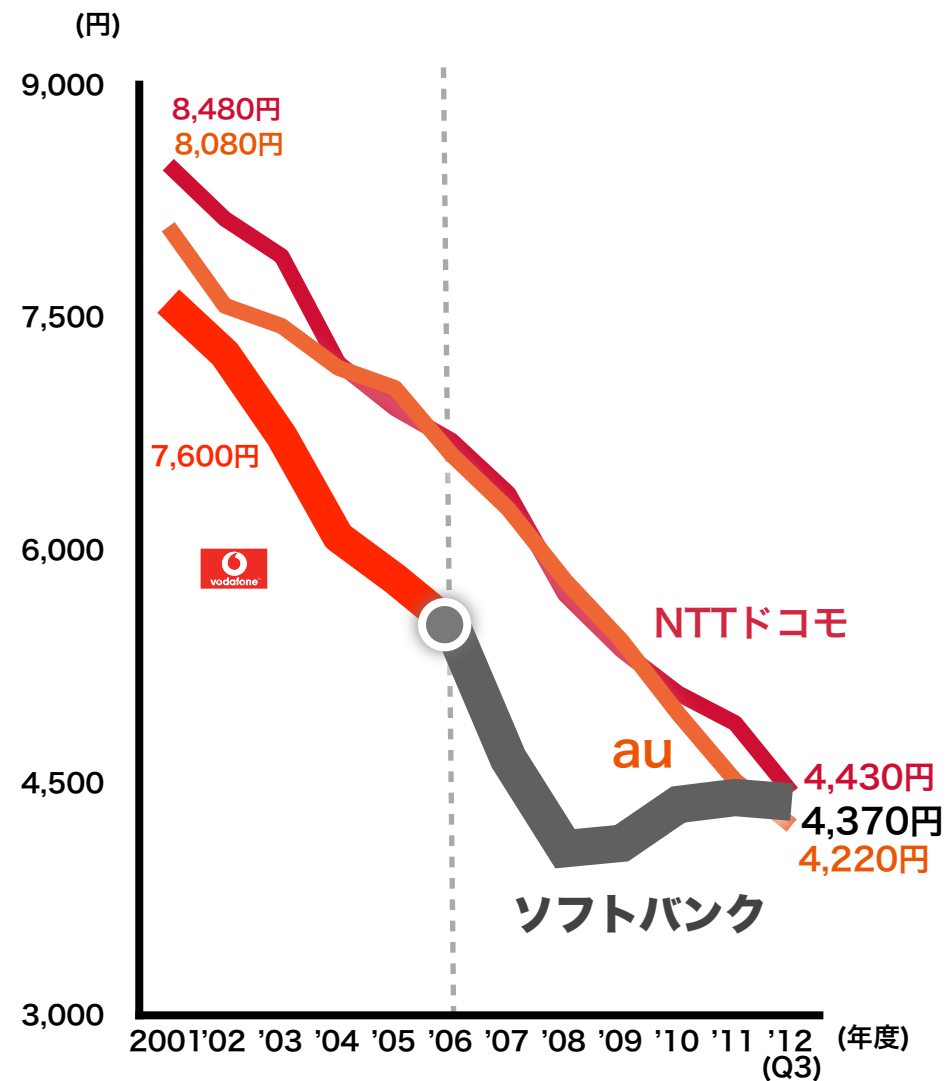
総合力で勝利

純増数



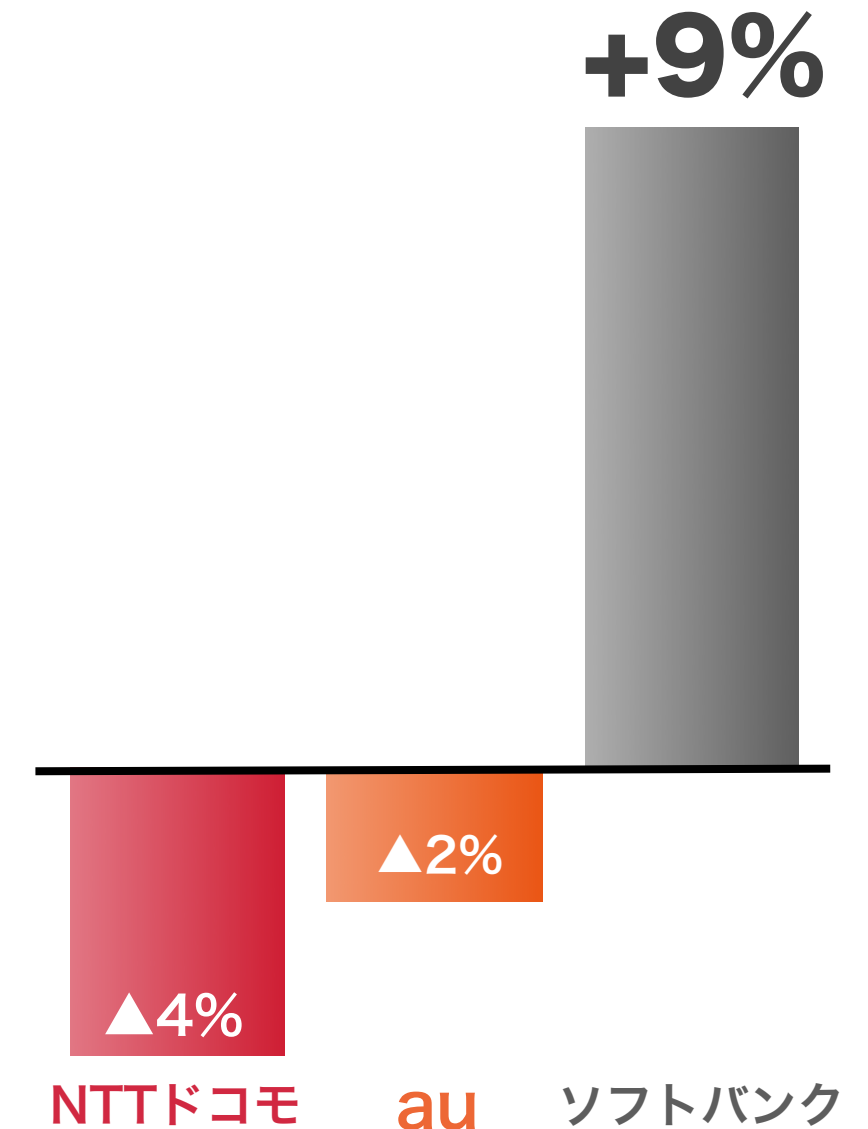
※純増数は2012年度4-12月期実績

ARPU



※ARPUは通信モジュールを除く。各社の開示資料を基に当社作成。
 ※ドコモの2012年度は、音声ARPUとパケットARPUの合計。スマートARPUを含まず。
 ※auの2012年度は、パーソナルセグメントの通信ARPU。

通信料売上

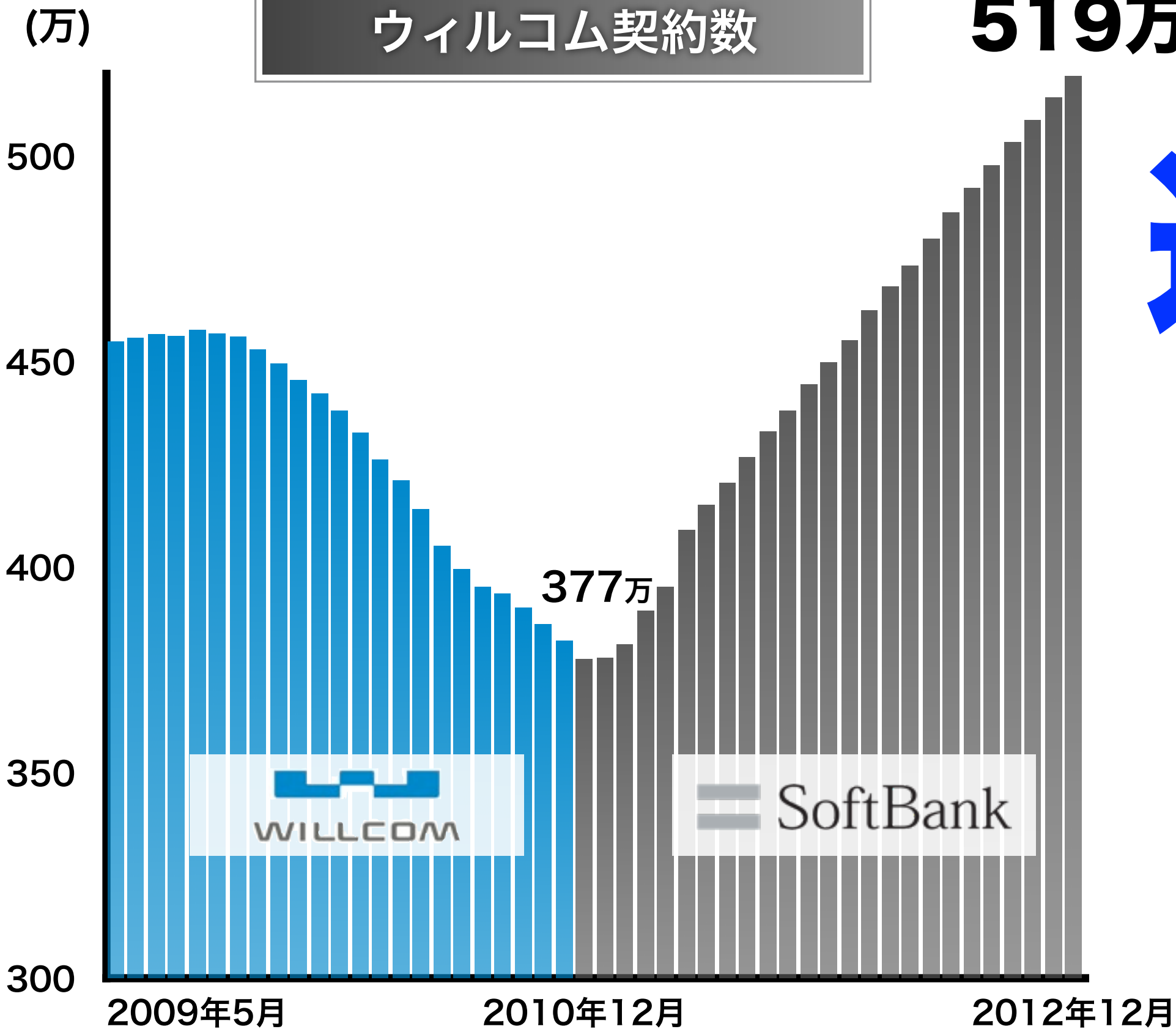


※auはパーソナルセグメントの通信料収入(モバイル) (2012年度Q1-3)

ウィルコム契約数

519万

過去最高



※PHS+3G

(億円)

固定通信 営業利益

811

711

0

▲676

2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12
Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3

(年度)

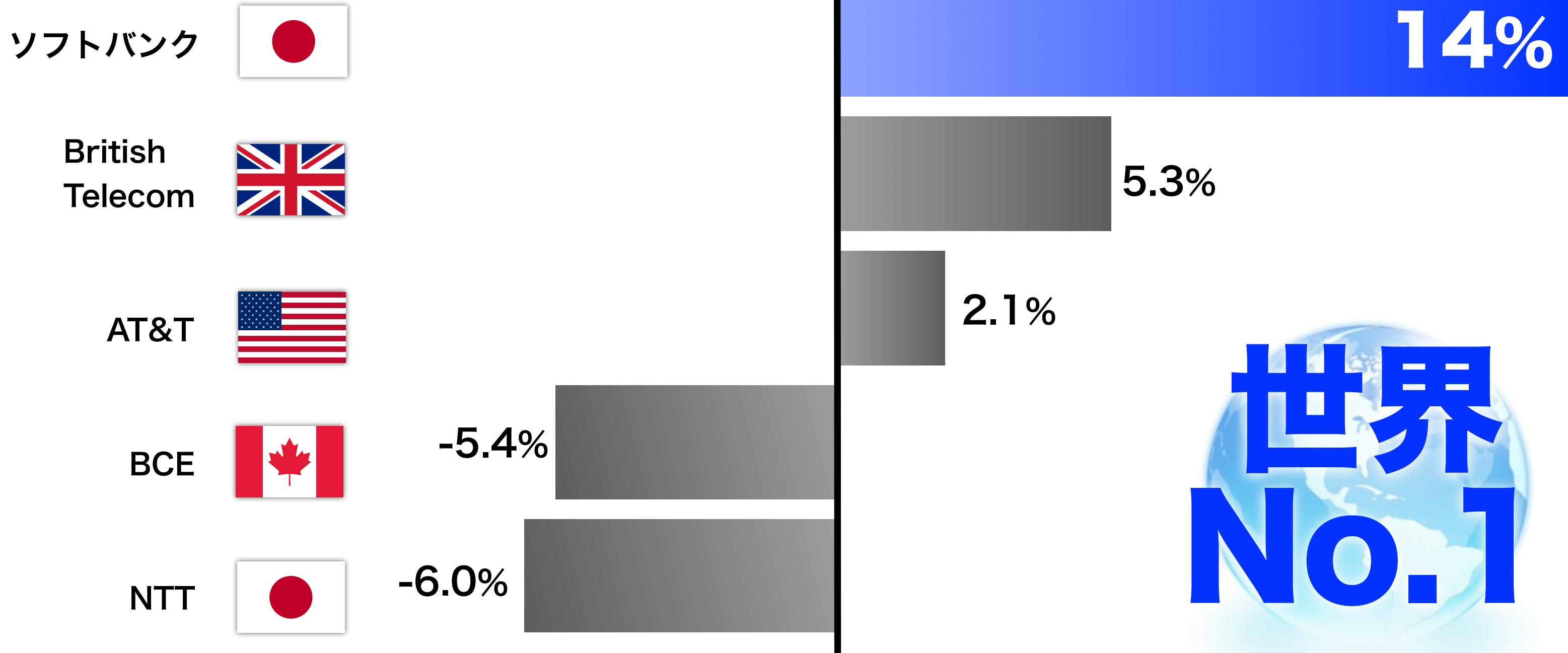
高収益化

(前期比14%増)



※BBインフラ事業を含む

固定通信 営業利益 増減率



※当社はBBインフラ事業を含む。AT&TとBCEはWirelineセグメント。
NTTは地域通信セグメント。※各社開示資料より当社作成 ※2012年度 直近累計の前年比

Google Apps for Business
獲得企業ID数(累計)

2012年

世界No.1



40万ID超



※世界No.1は2012年1月～12月までのGoogle Apps for Business販売実績

(億円)

ヤフー 営業利益

1,354

最高益を更新

利益成長が加速



2002 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 (年度)
Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3 Q1-3

Google Play トップセールス 世界ランキング

当社持分**33.7%**



順位

社名/ゲーム名

1



ガンホー・オンライン・エンターテイメント
パズル&ドラゴンズ

2



Next Floor
DragonFight for Kakao

3



NHN
LINE POP

4



SUNDAYTOZ
Anipang for Kakao

5



PATISTUDIO
아이러브커피 for Kakao

Androidで
世界No.1
iPhoneで**日本No.1**



※AppAnnie調べ
2012年12月売上

端末



営業/ブランド

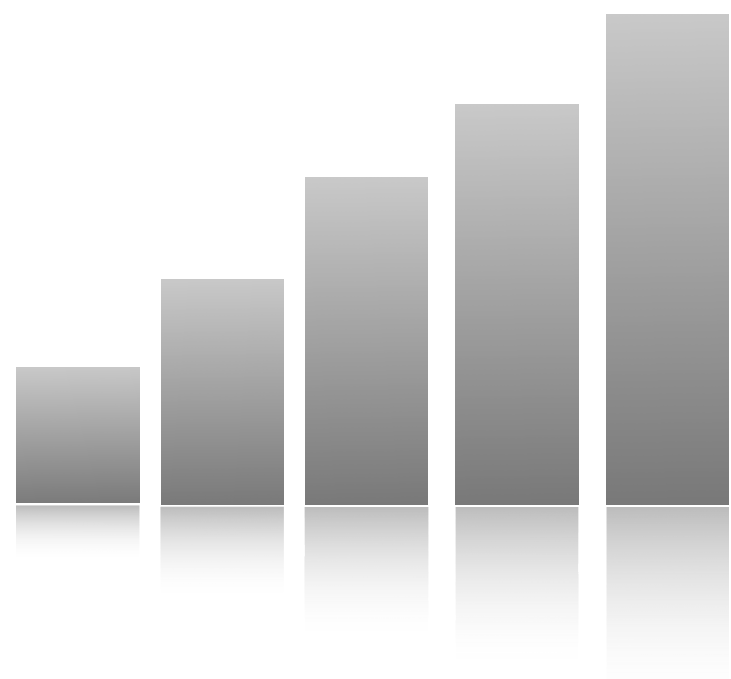


コンテンツ



課題を克服し、競争力を強化

最後の課題を克服へ



つながる ソフトバンクへ

ネットワーク満足度

速度 × 接続率
(音声・データ)

ネットワーク満足度

速度

×

接続率

(音声・データ)

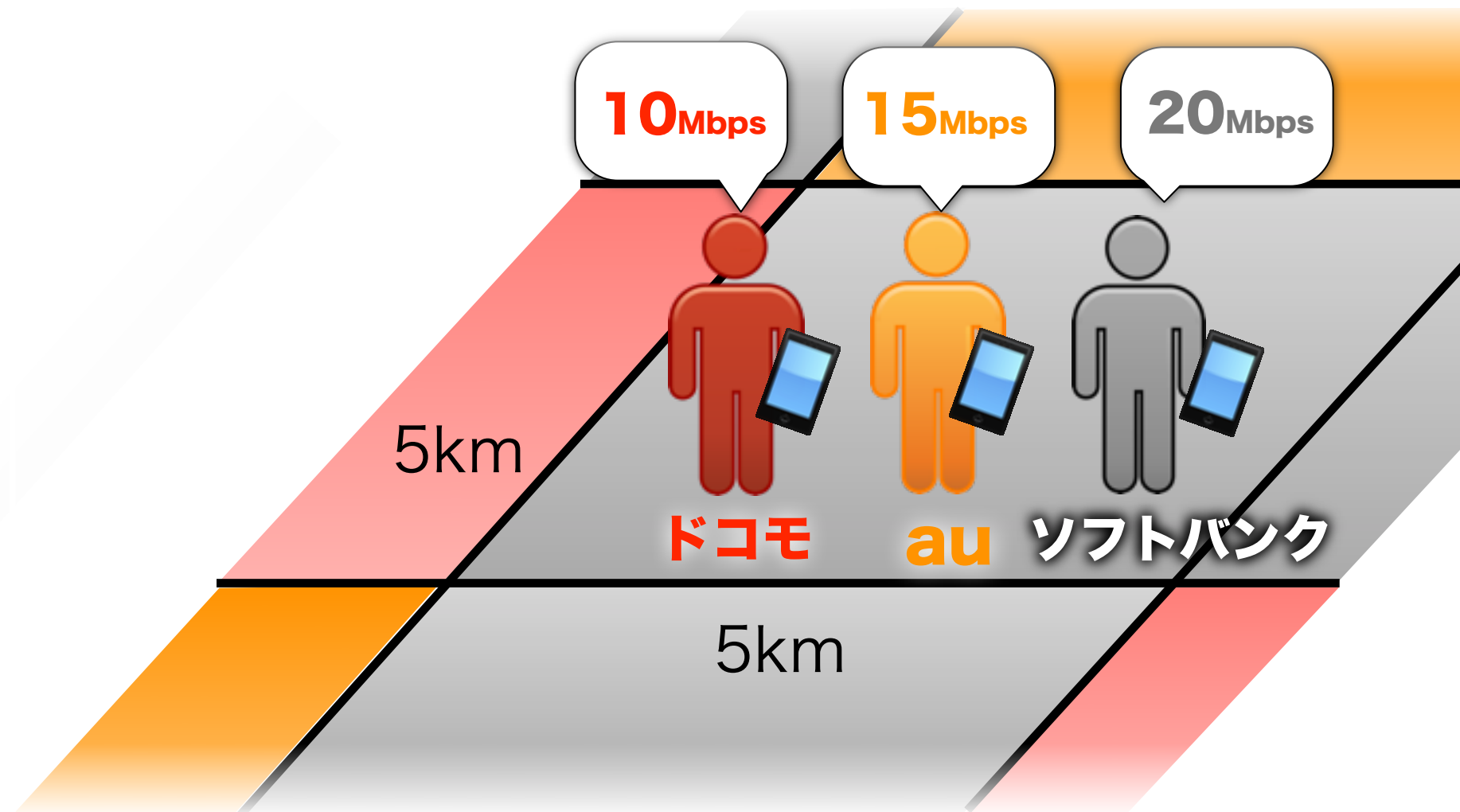
RBB TODAYによる全国速度調査

ユーザーがアプリで
通信速度を測定



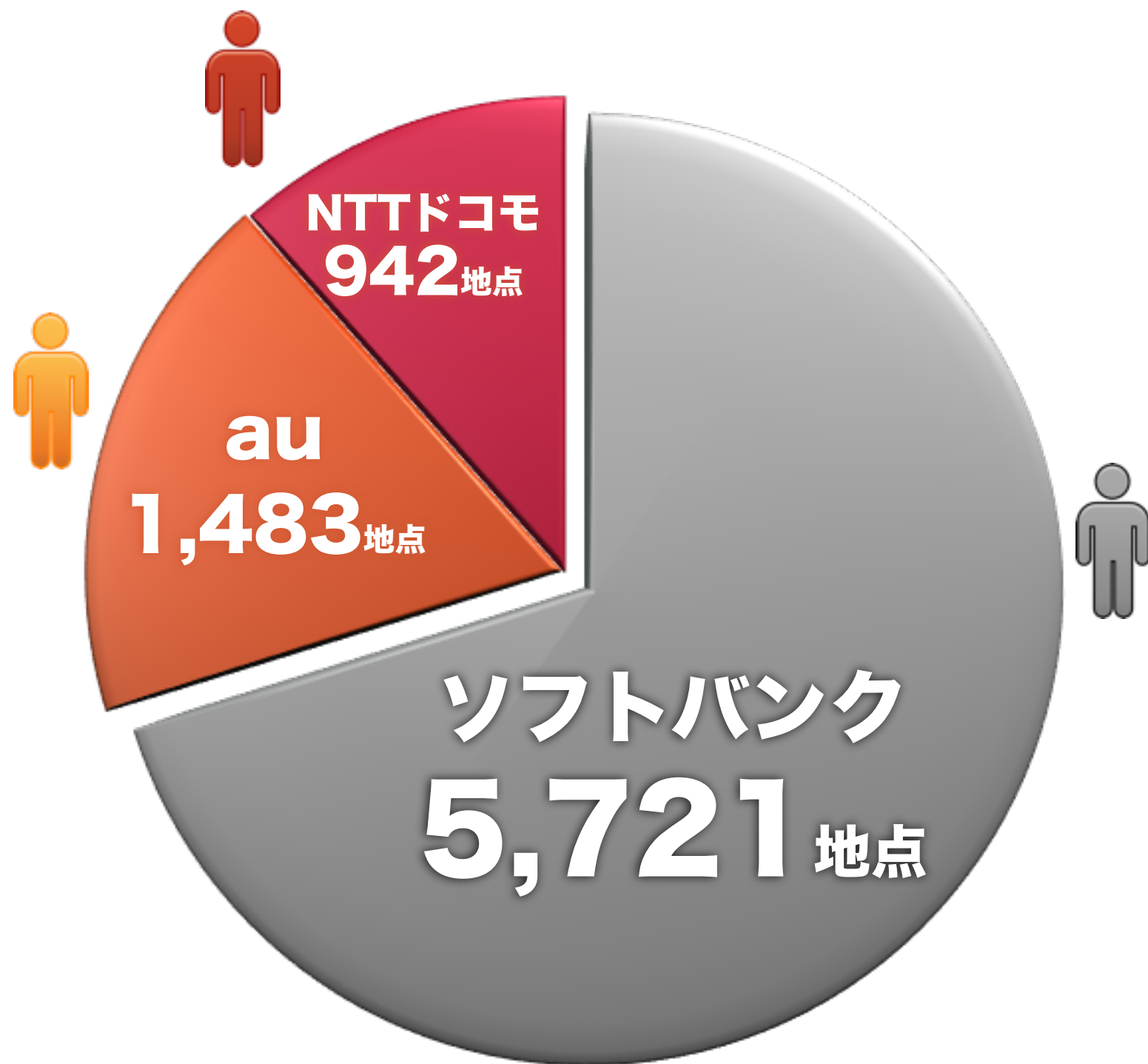
最速キャリアを
判定

(計測イメージ)



サンプル数 約150万

最速地点数 (iOS+Android)



最速地点の数 No.1



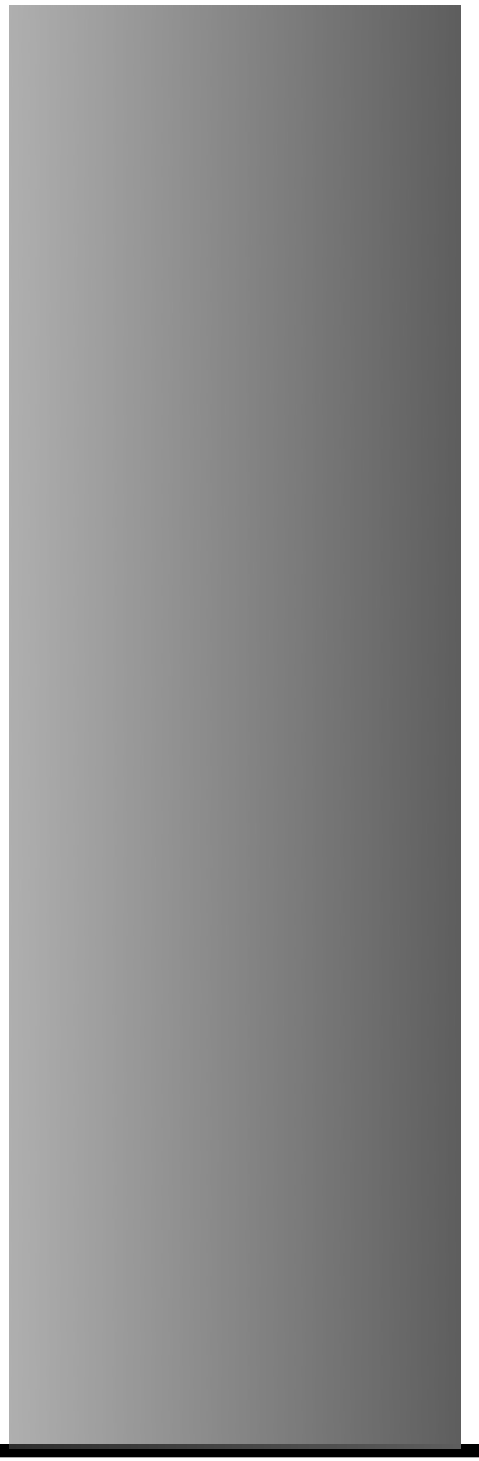
平均速度
(iOS+Android)

6.0Mbps

最速

3.9Mbps

3.0Mbps



NTTドコモ

au

ソフトバンク



LTE平均速度
(iOS)

11.5Mbps

6.2Mbps

auの約2倍



au

ソフトバンク

第三者機関によるLTE調査

SoftBank

au

関東エリア調査
(349地点)

価格.com



206地点

152地点

全国ランドマーク調査
(200地点)

ICT総研
ICT Research & Consulting



180地点

126地点

新幹線駅調査
(291地点)

ICT総研
ICT Research & Consulting



217地点

103地点

全国人気の街調査
(300地点)

MMRI
株式会社MM総研



242地点

205地点

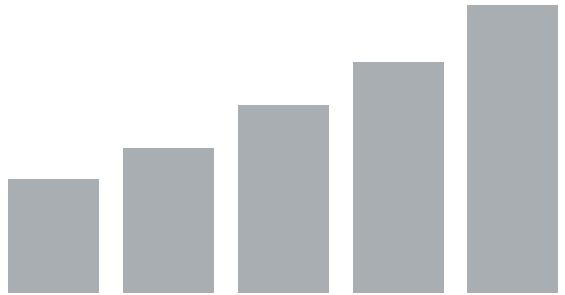
ネットワーク満足度

速度

×

接続率

(音声・データ)

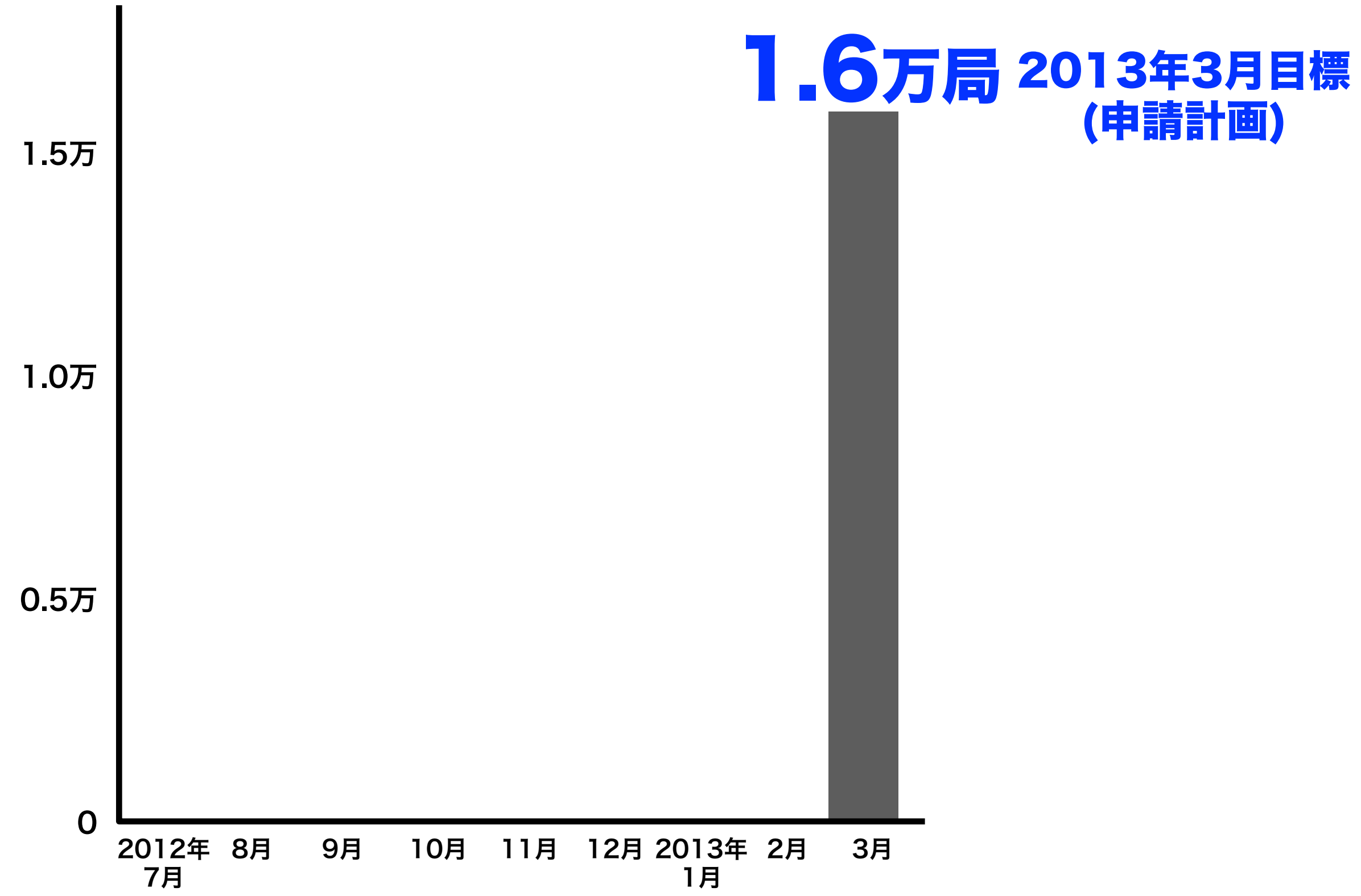


プラチナバンド

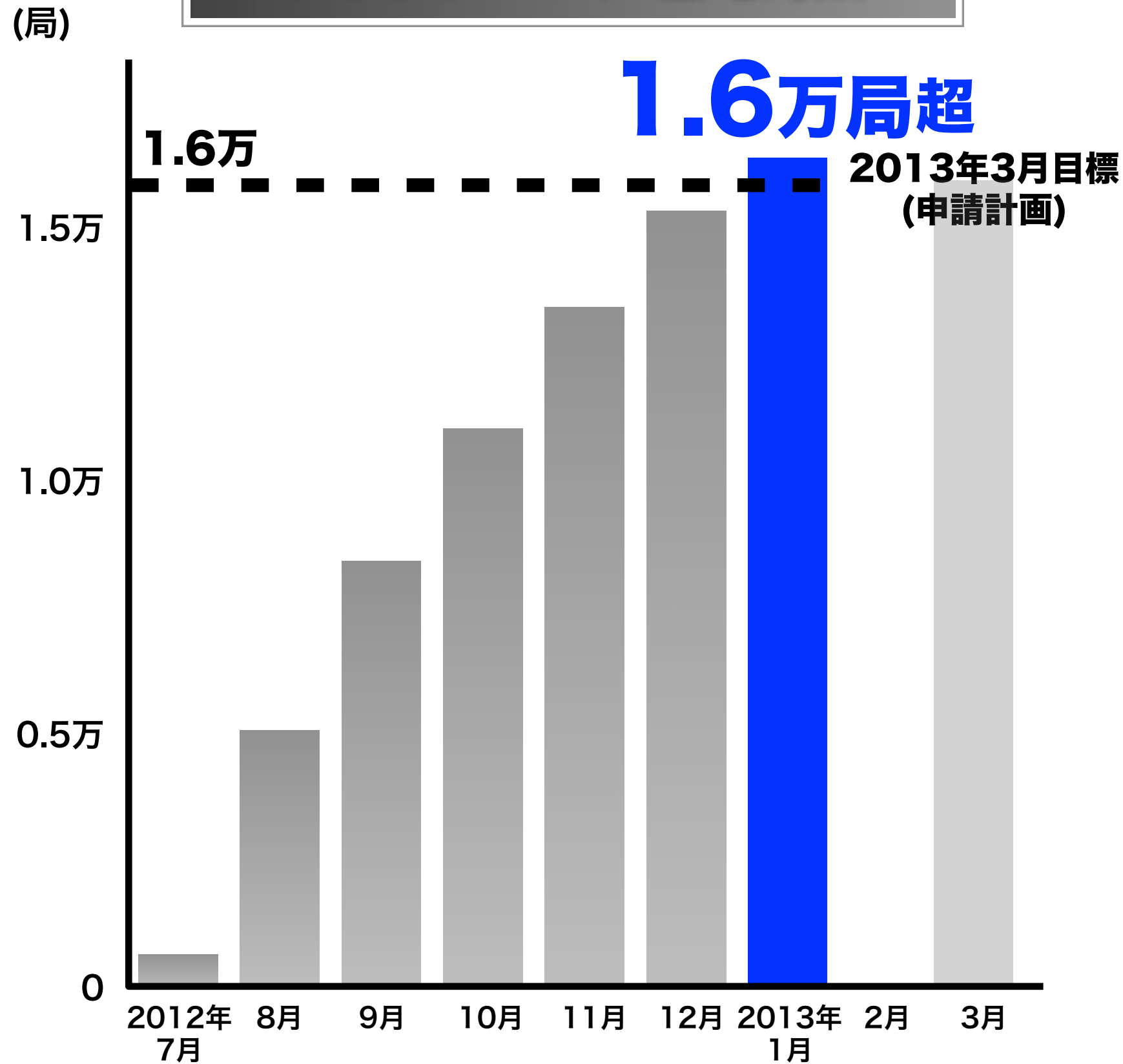
映像をご覧ください

プラチナバンド 基地局数

(局)



プラチナバンド 基地局数



2カ月
前倒しで達成



音声接続率



音声接続率とは

各キャリアのユーザー
(着信 承諾済)

調査会社 発信システム

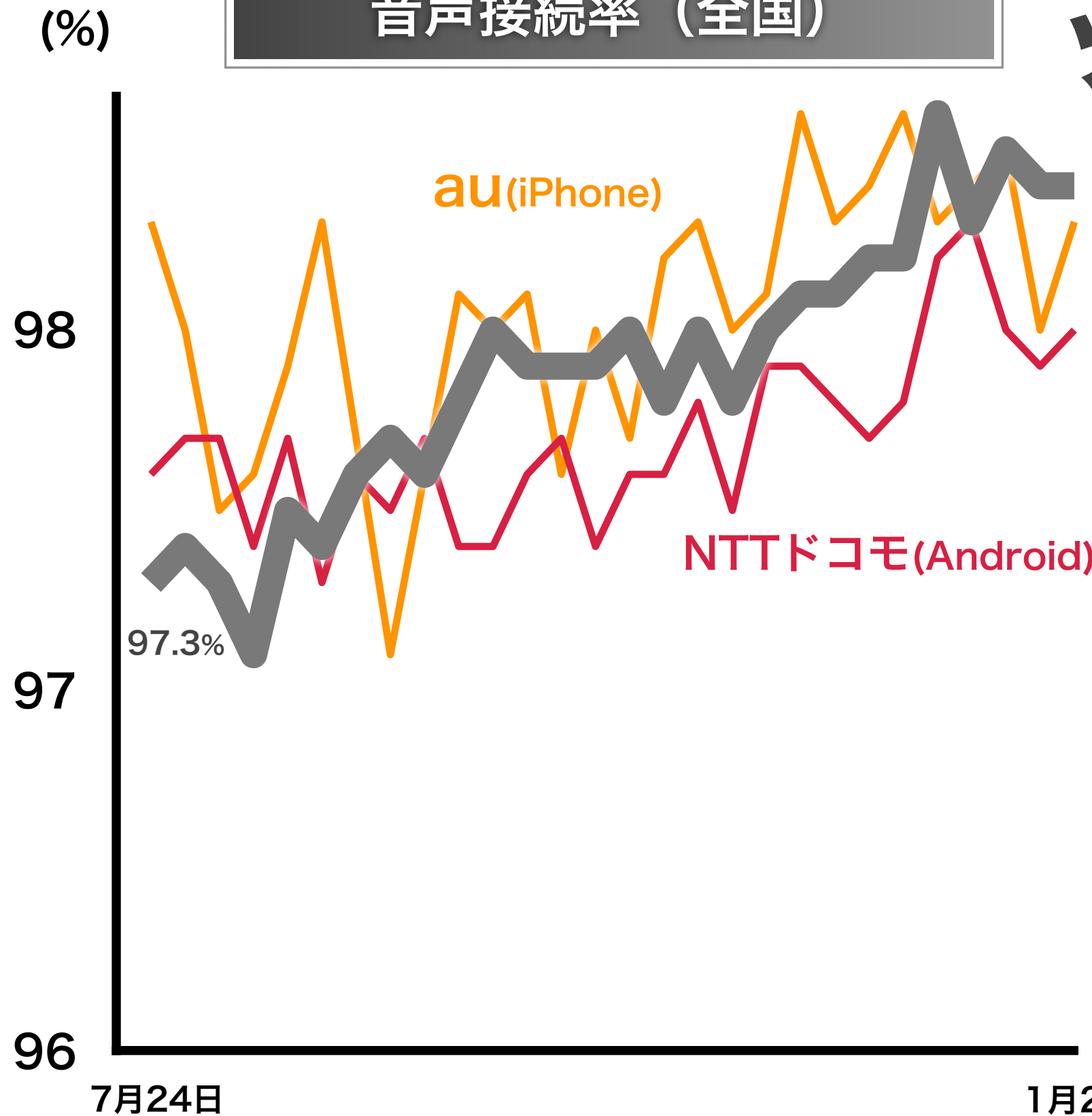


発信



月間13万件の発信データ

音声接続率 (全国)



ソフトバンク (iPhone)

98.4%

98.3%

98.0%

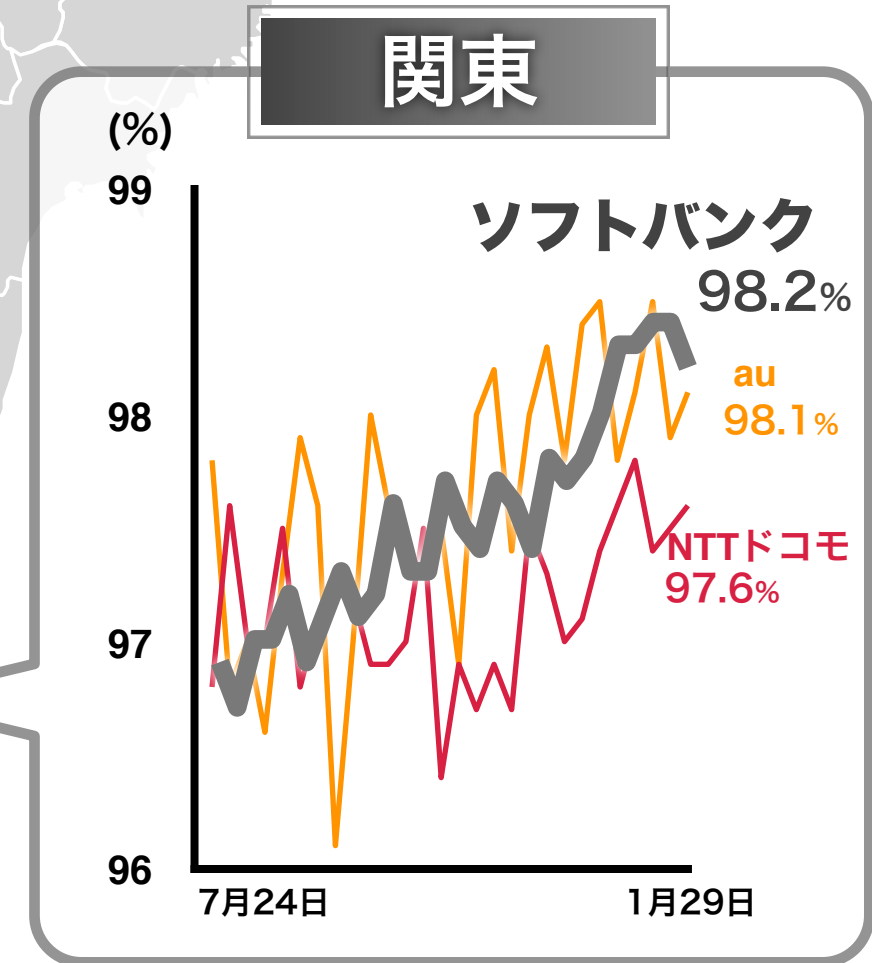
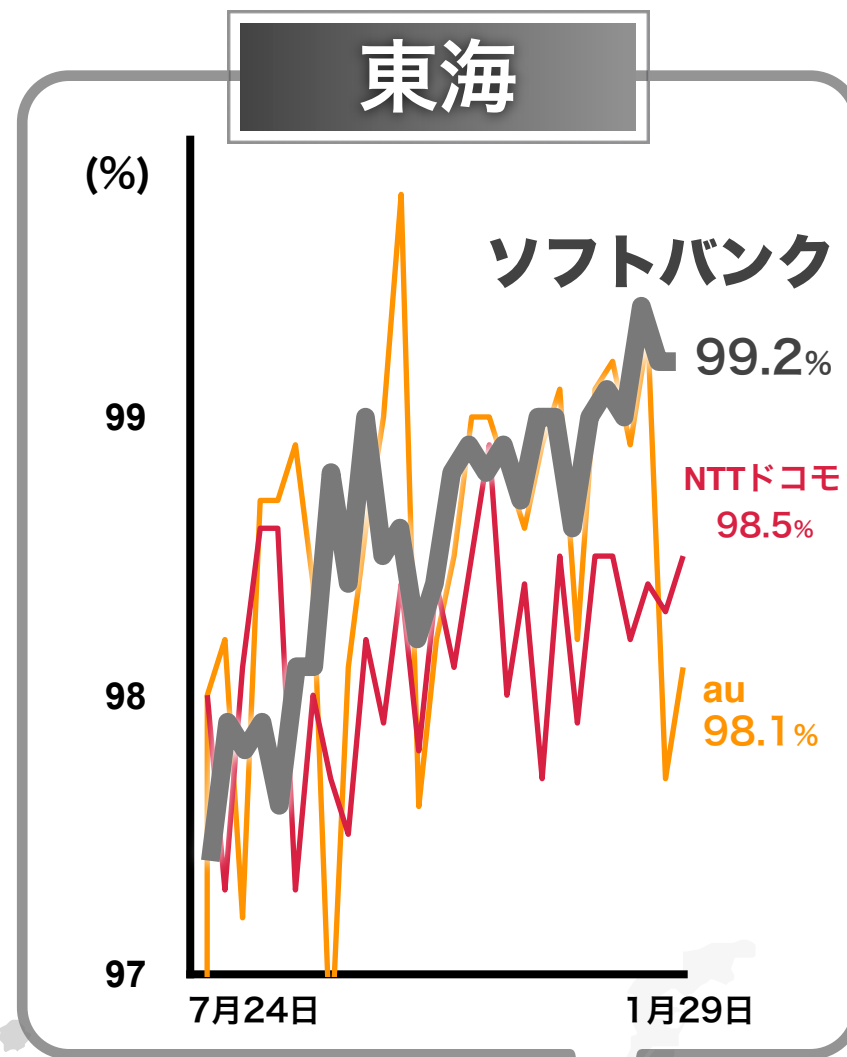
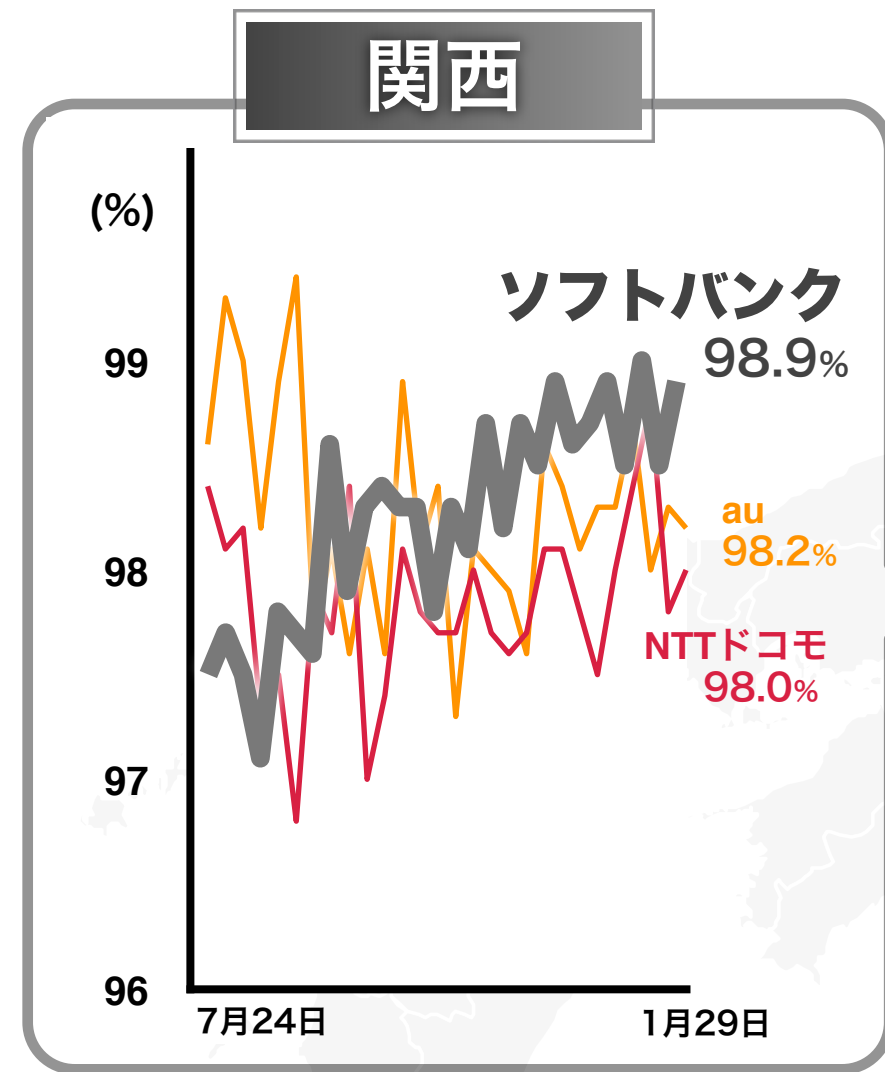
接続率
大幅改善



※イブソス株式会社による全国調査。
 承諾を得たユーザーに対し発信し接続率を測定。
 ソフトバンク：iPhone 4SおよびiPhone 5ユーザー：64,000件/月
 NTTドコモ：Android搭載端末ユーザー：44,000件/月
 au：iPhone 4SおよびiPhone 5ユーザー：24,000件/月

音声接続率

接続率 大幅改善



※イブソス株式会社による全国調査。
 承諾を得たユーザーに対し発信し接続率を測定。
 ソフトバンク：iPhone 4SおよびiPhone 5ユーザー
 NTTドコモ：Android搭載端末ユーザー
 au：iPhone 4SおよびiPhone 5ユーザー

(関東) ソフトバンク：26,400件/月、NTTドコモ：21,200件/月、au：9,200件/月
 (東海) ソフトバンク：8,400件/月、NTTドコモ：4,400件/月、au：2,800件/月
 (関西) ソフトバンク：14,000件/月、NTTドコモ：8,800件/月、au：6,000件/月

データ接続率



データ接続率とは

利用者がデータ提供を
承諾したアプリ

(防災速報アプリ等)

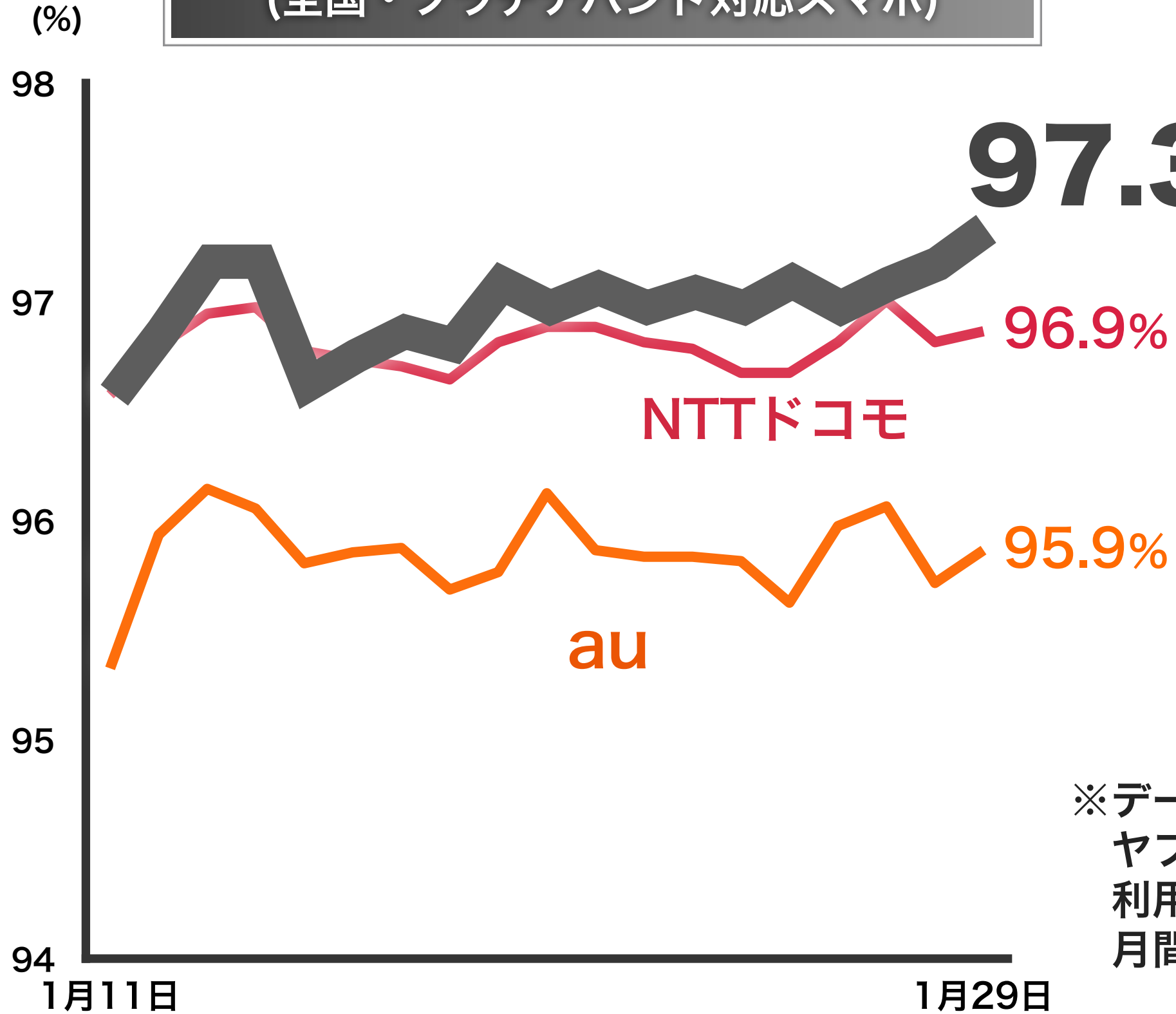


データ通信ログ
(個人情報を除く)
データ提供: ヤフー株式会社



月間3,000万件規模のデータ通信ログを解析

データ接続率
(全国・プラチナバンド対応スマホ)



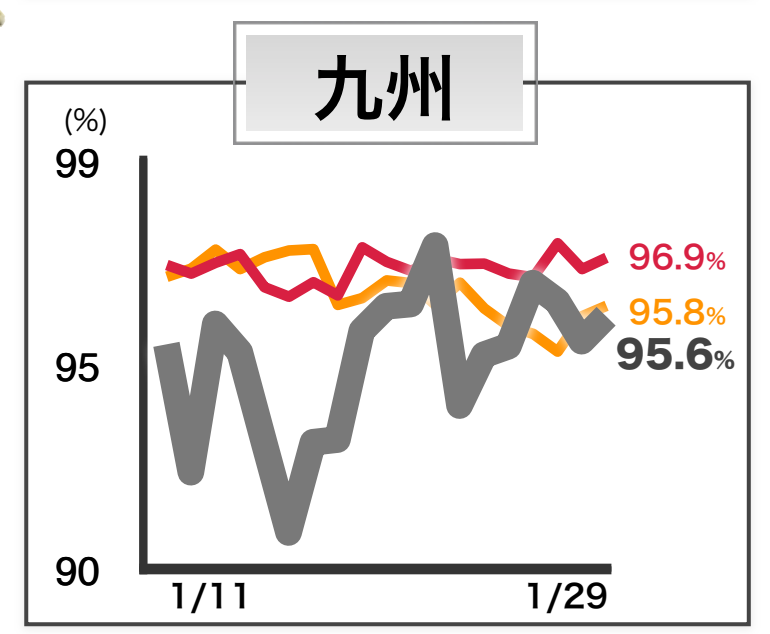
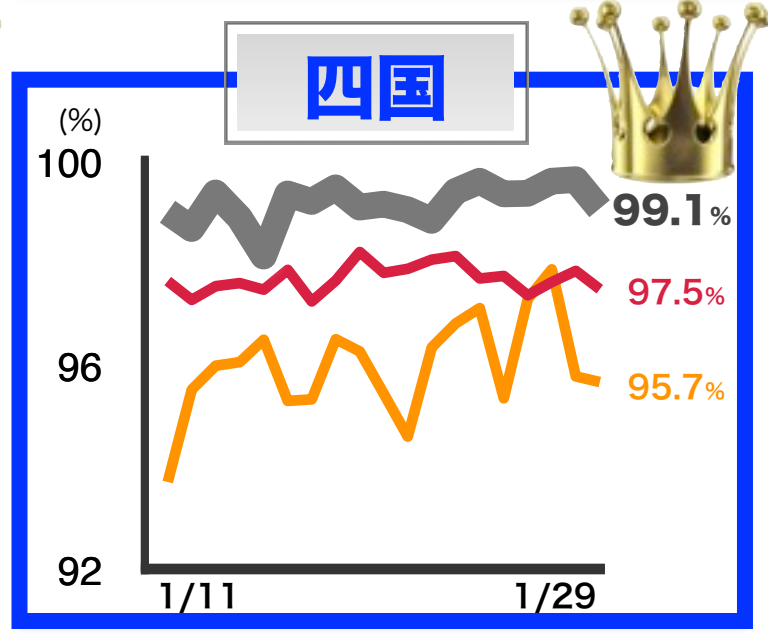
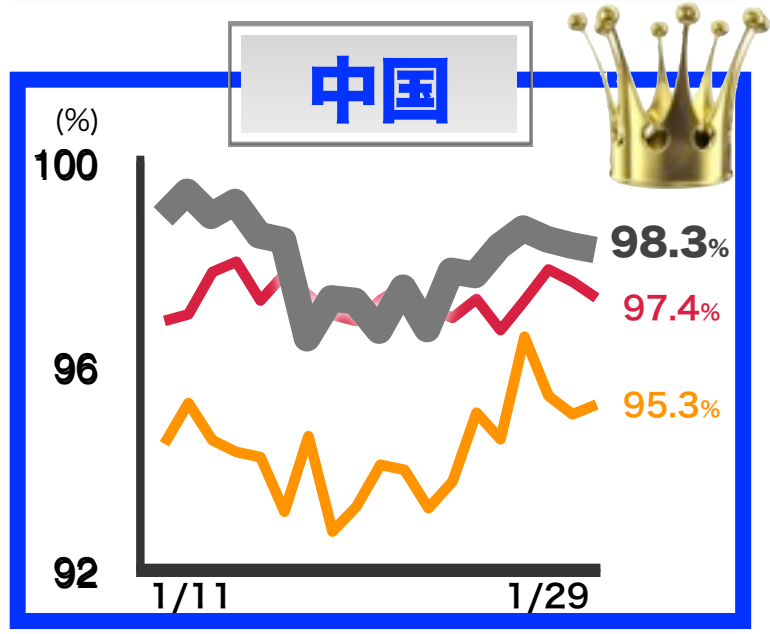
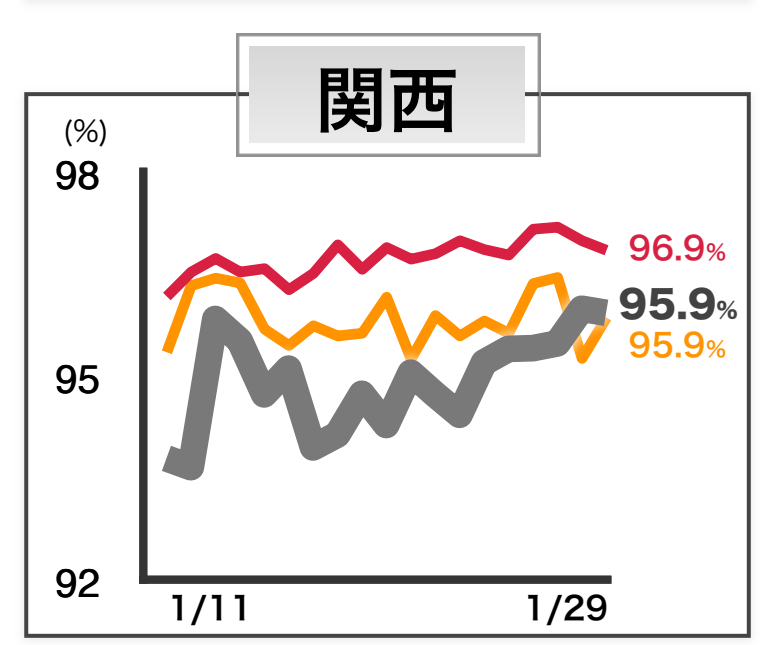
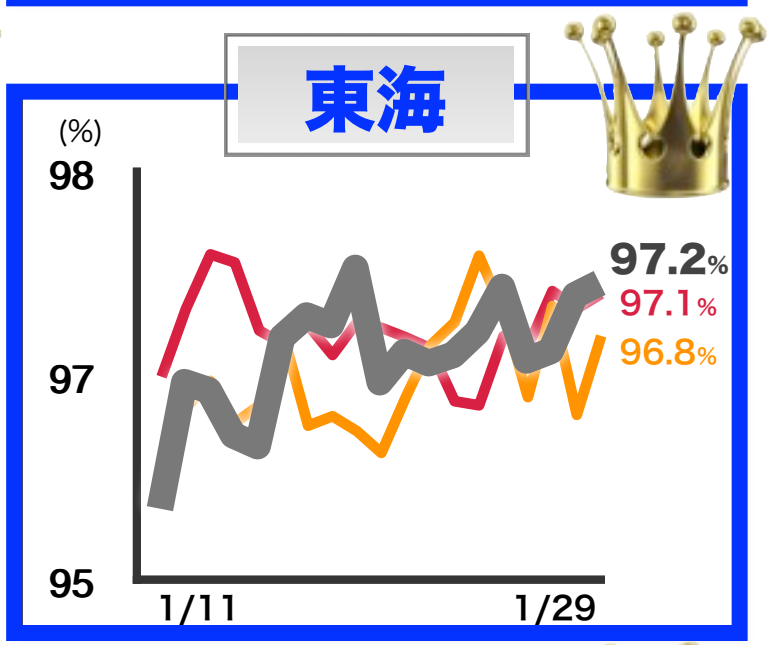
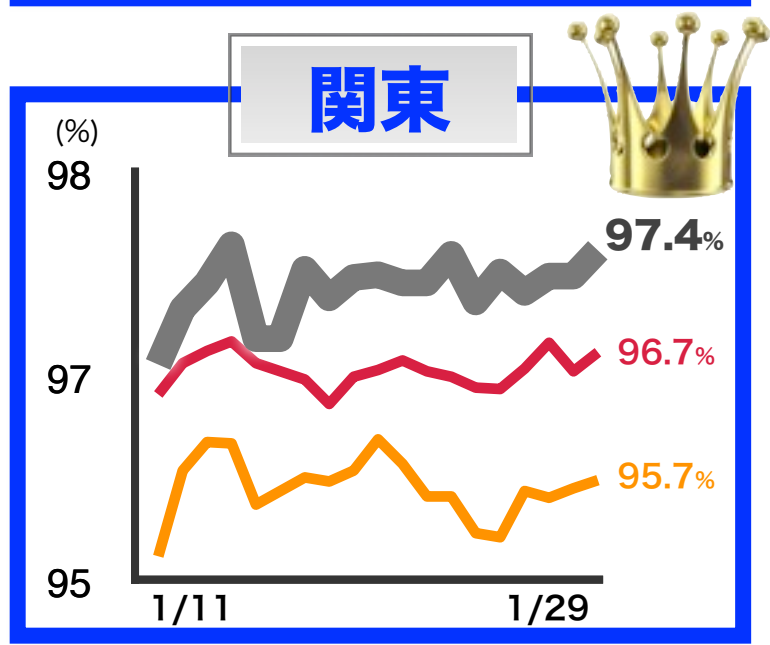
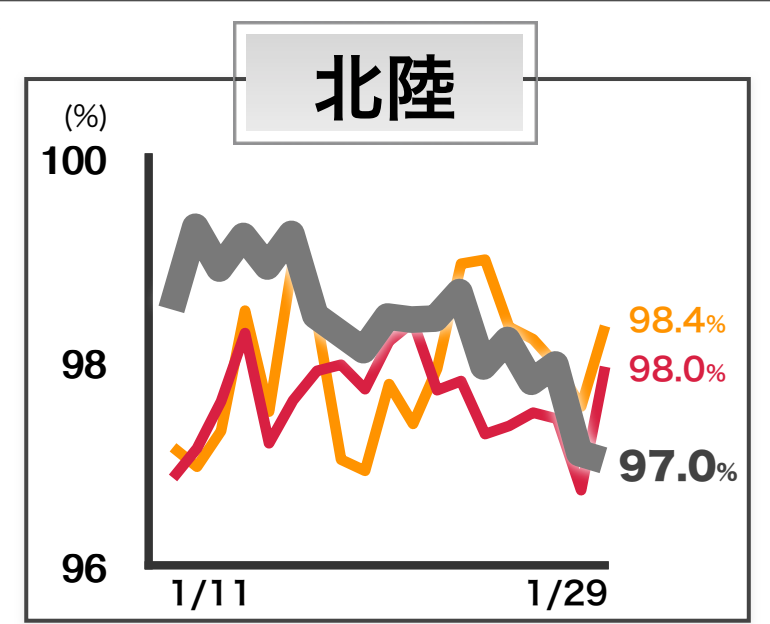
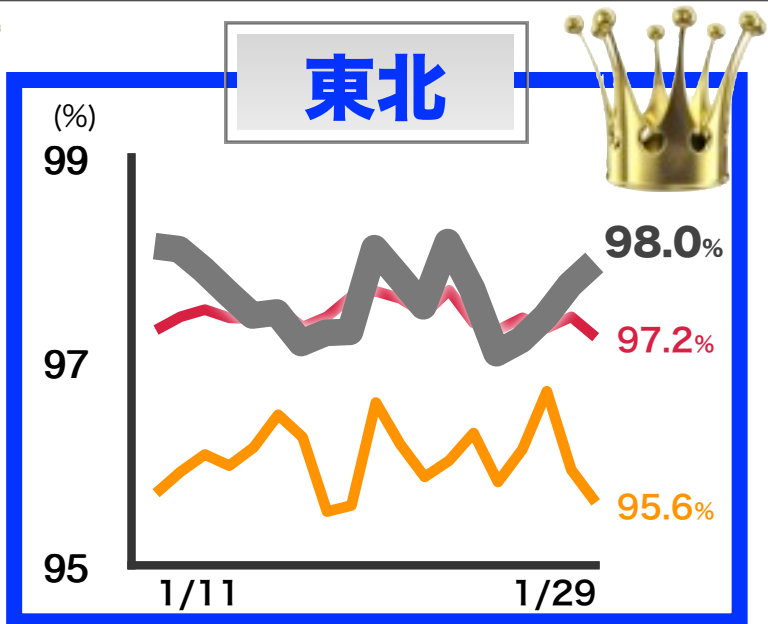
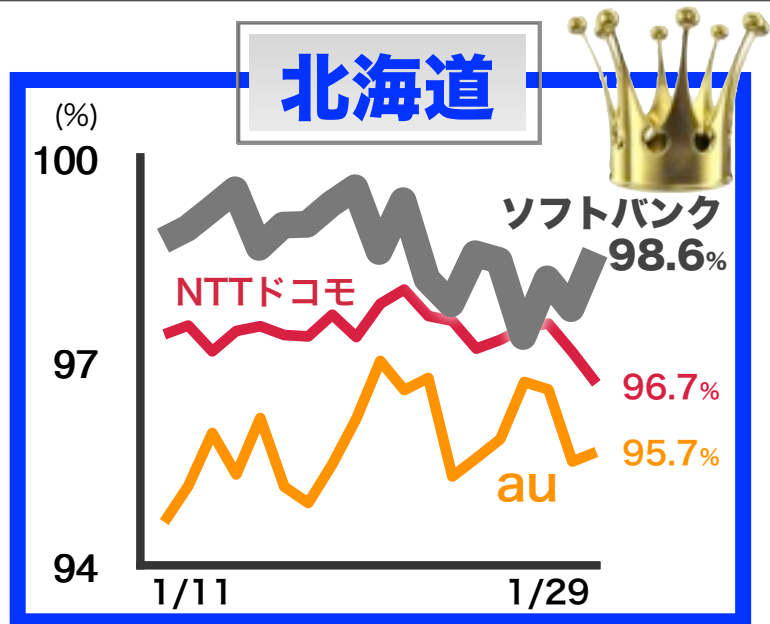
97.3% ソフトバンク

**データ接続率
No.1**

※データ提供: ヤフー株式会社
ヤフー株式会社が提供している防災速報アプリ等で
利用者の承諾を得た上で集計。
月間3,000万件規模のデータを使用。

データ接続率

6地域で No.1



※データ提供: ヤフー株式会社
ヤフー株式会社が提供している
防災速報アプリ等で
利用者の承諾を得た上で集計。
月間3,000万件規模のデータを使用。



孫正義

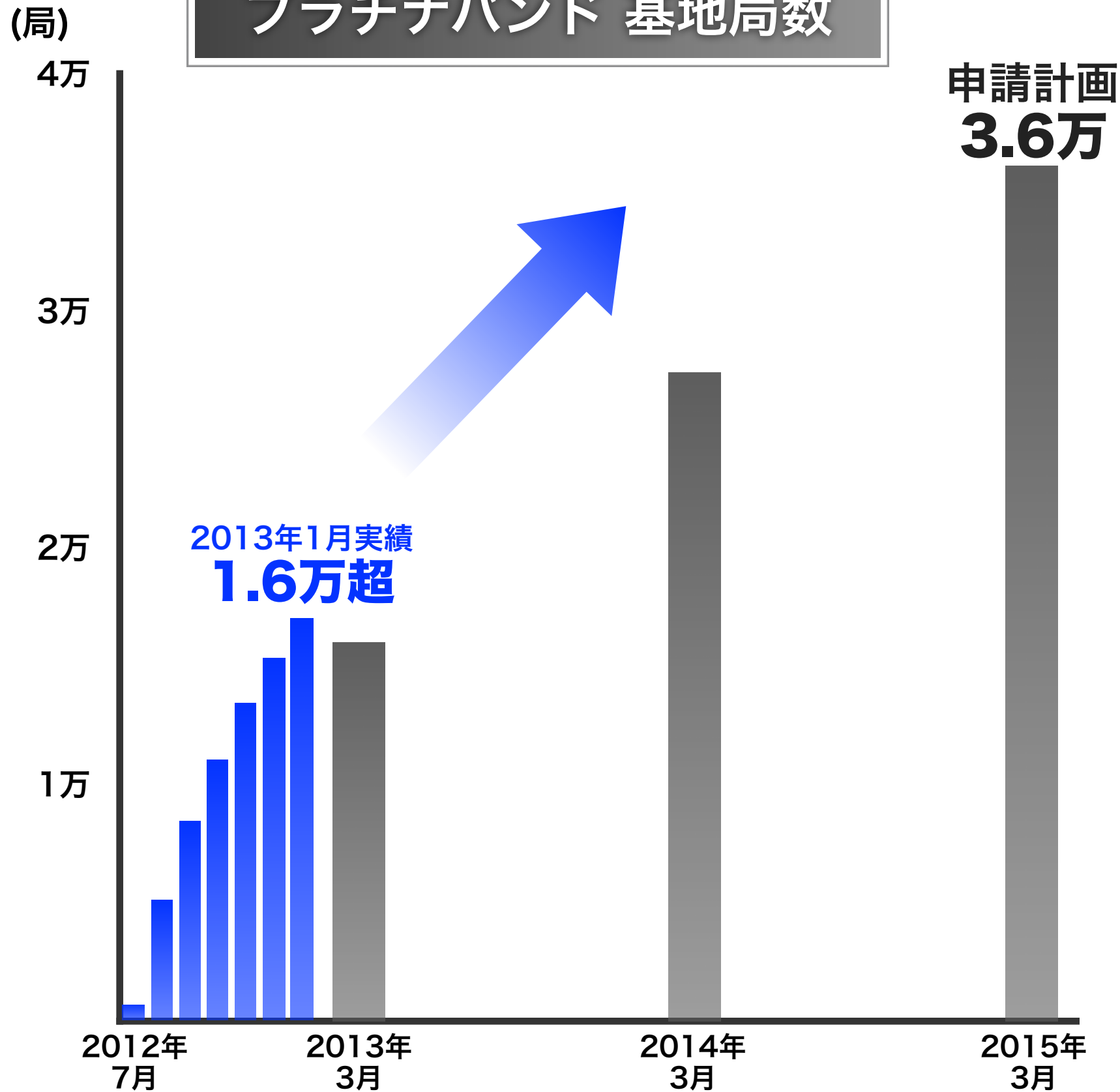
@masason

電波改善の件、必ずドコモを抜きます。
少し時間は、かかりますが
男のプライドにかけて必ず成します。

2010年9月23日 - 14:34

まだ満足しておりません

プラチナバンド 基地局数



前倒しで
さらに増強



SoftBank



1.7GHz LTEに対応

(順次対応予定)



iPhone 5



iPad mini



iPad Retina
ディスプレイモデル



つながるソフトバンクへ



2012年度 見通し

国内 連結営業利益

**7,000億円を
確実に上回る**

2013年度 見通し

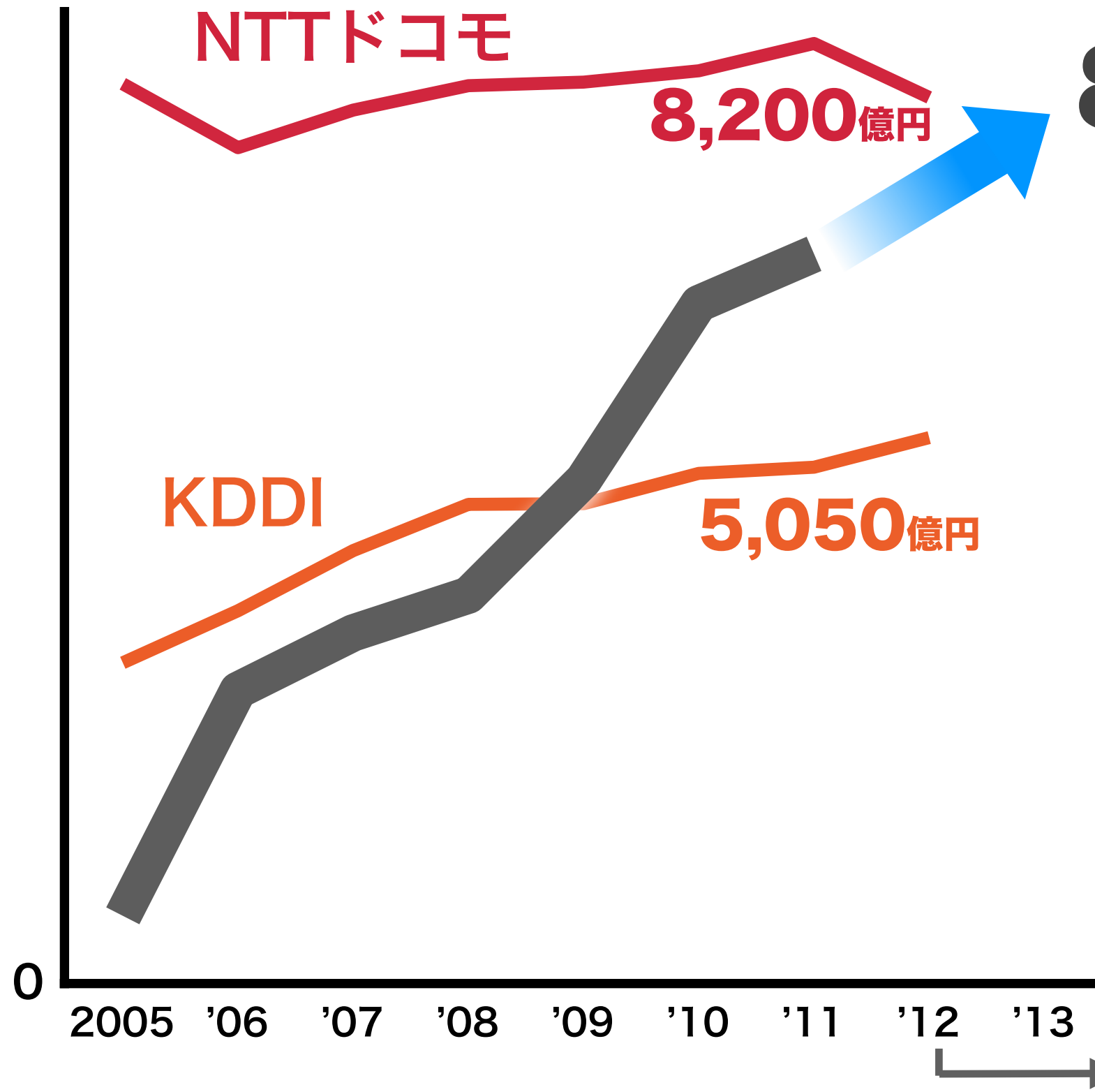
国内 連結営業利益

(従来の会計基準)

8,000億円

連結営業利益

(億円)



8,000億円 ソフトバンク
(国内)

順調に成長

※各社の開示資料を基に当社作成

2013年度 見通し

海外含む 連結営業利益

(国際会計基準)

7,000億円前後

2014年度 見通し

海外含む 連結営業利益

(国際会計基準)

最高益更新へ

A photograph of the Golden Gate Bridge in San Francisco, California, viewed from a low angle looking up at the bridge's structure. The bridge's towers and suspension cables are prominent against a clear blue sky. The bridge spans across a body of water, with green hills visible in the background.

次なる挑戦は 米国市場

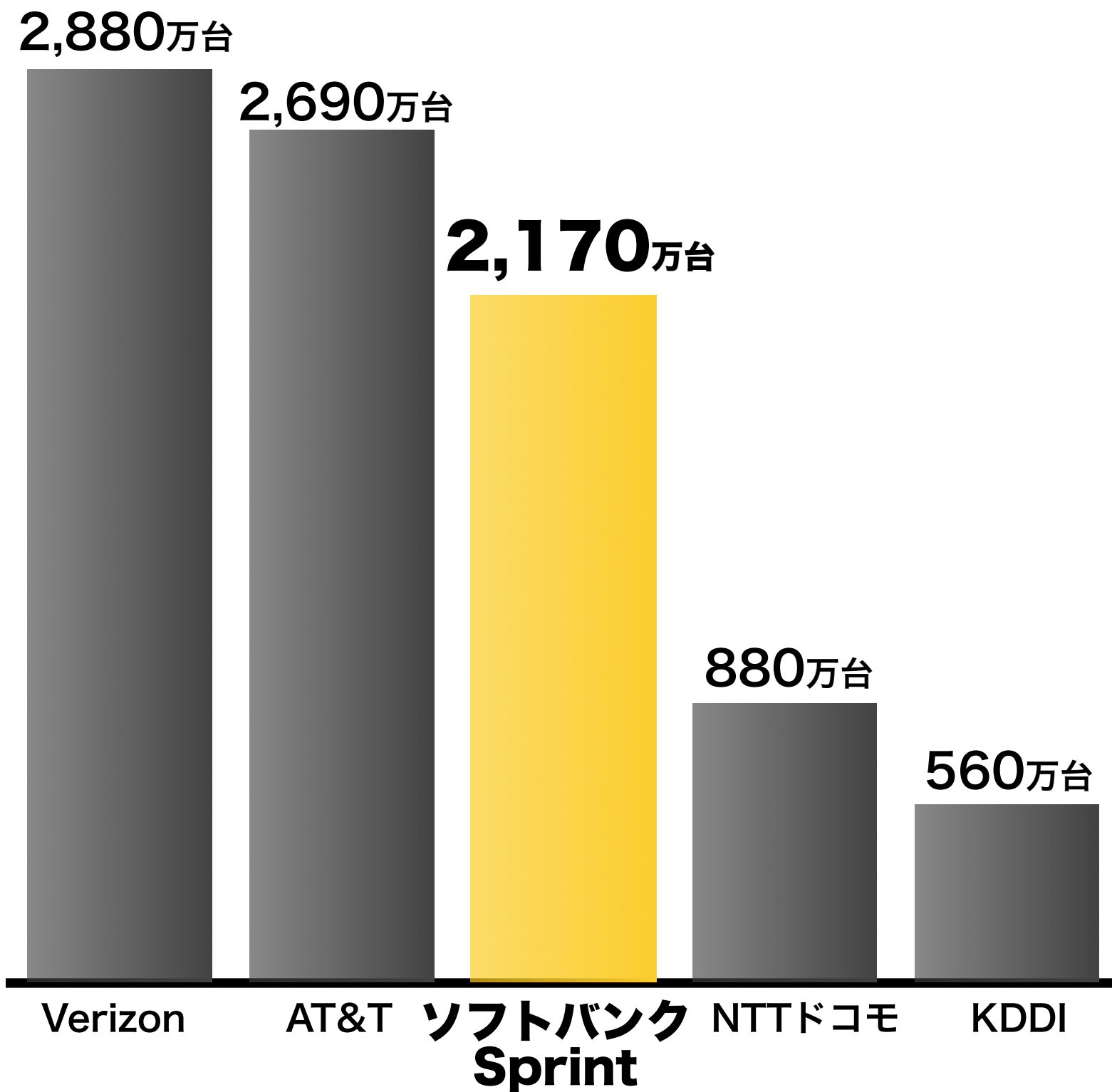
Sprint[®]



1. スマートフォン
2. ネットワーク
3. V字回復のノウハウ

シナジー創出で競争力強化

スマートフォン販売台数

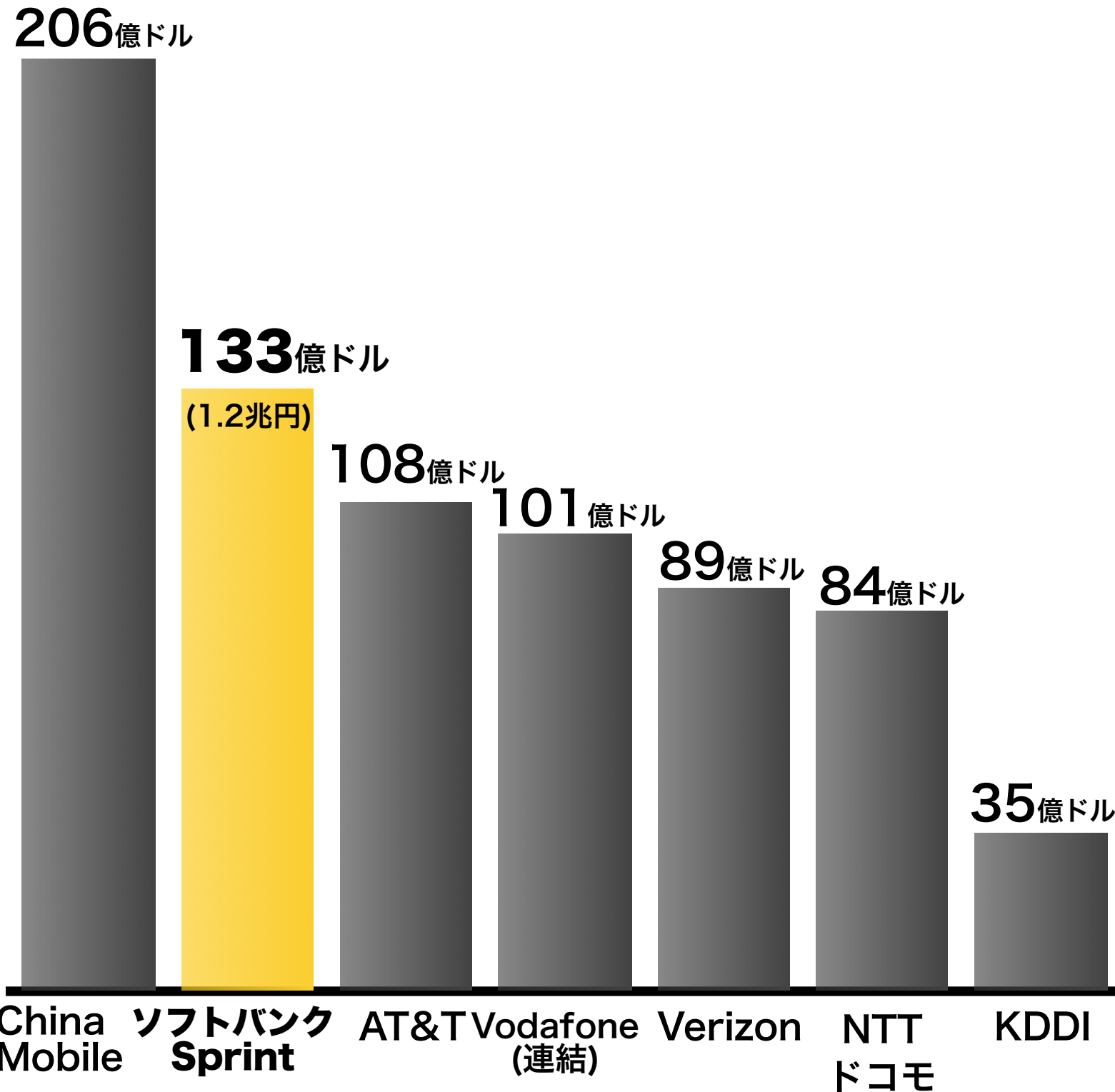


日米3位の スケールメリット



Verizon、AT&T：2012年度実績
その他：2011年度実績

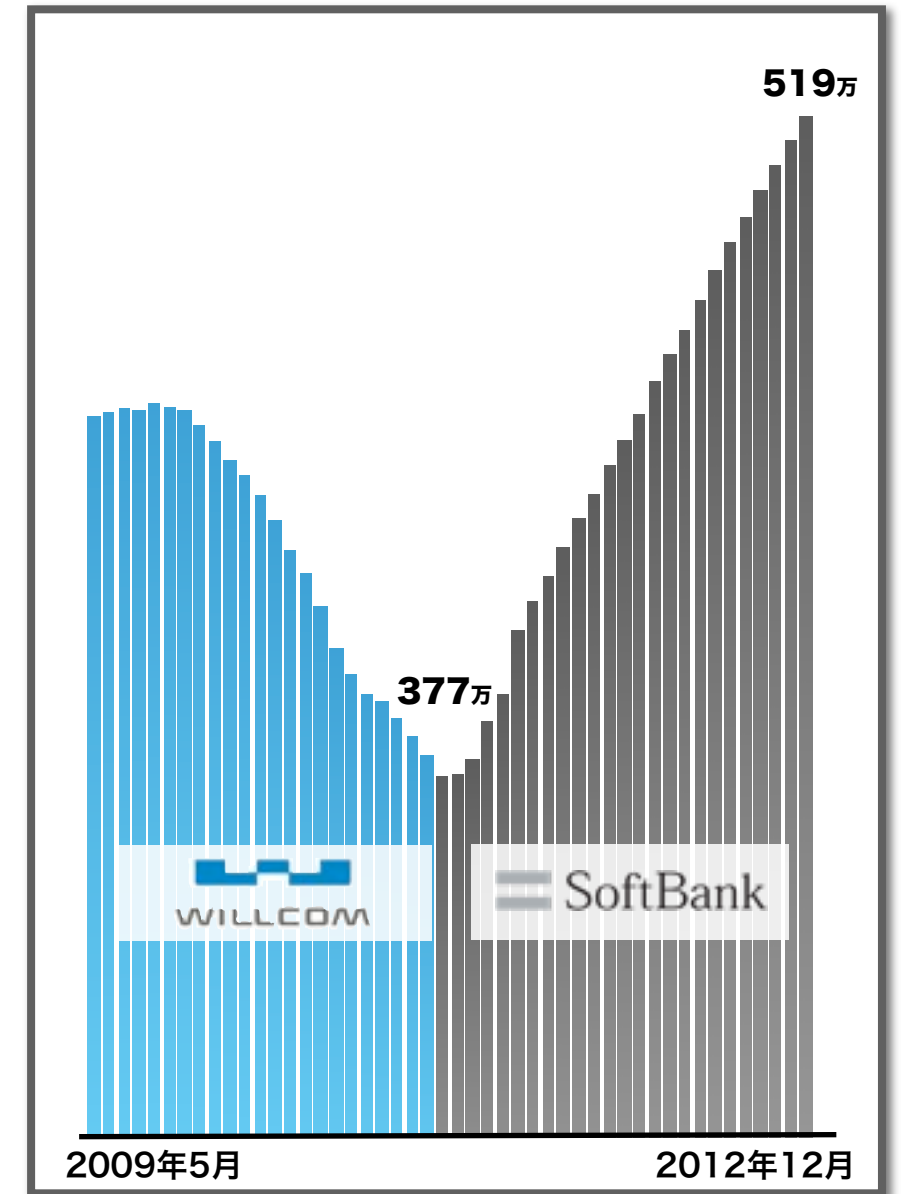
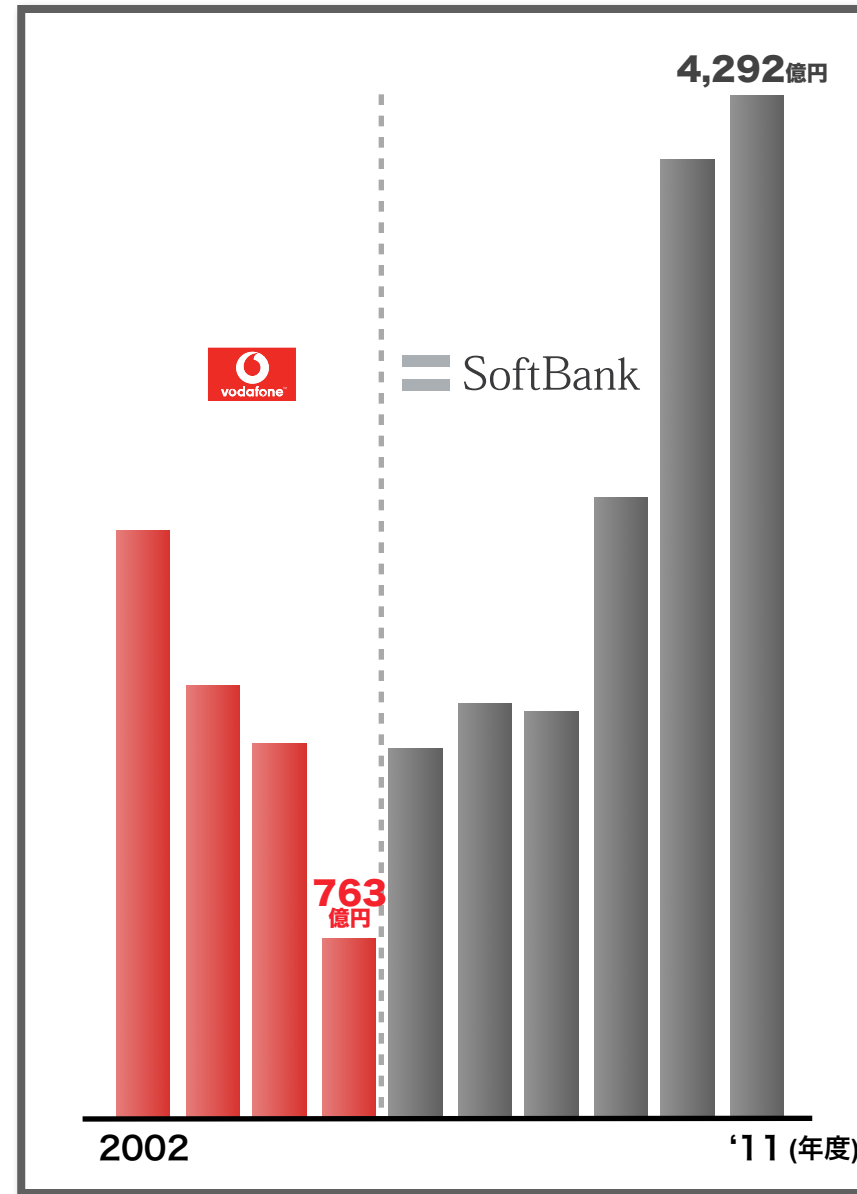
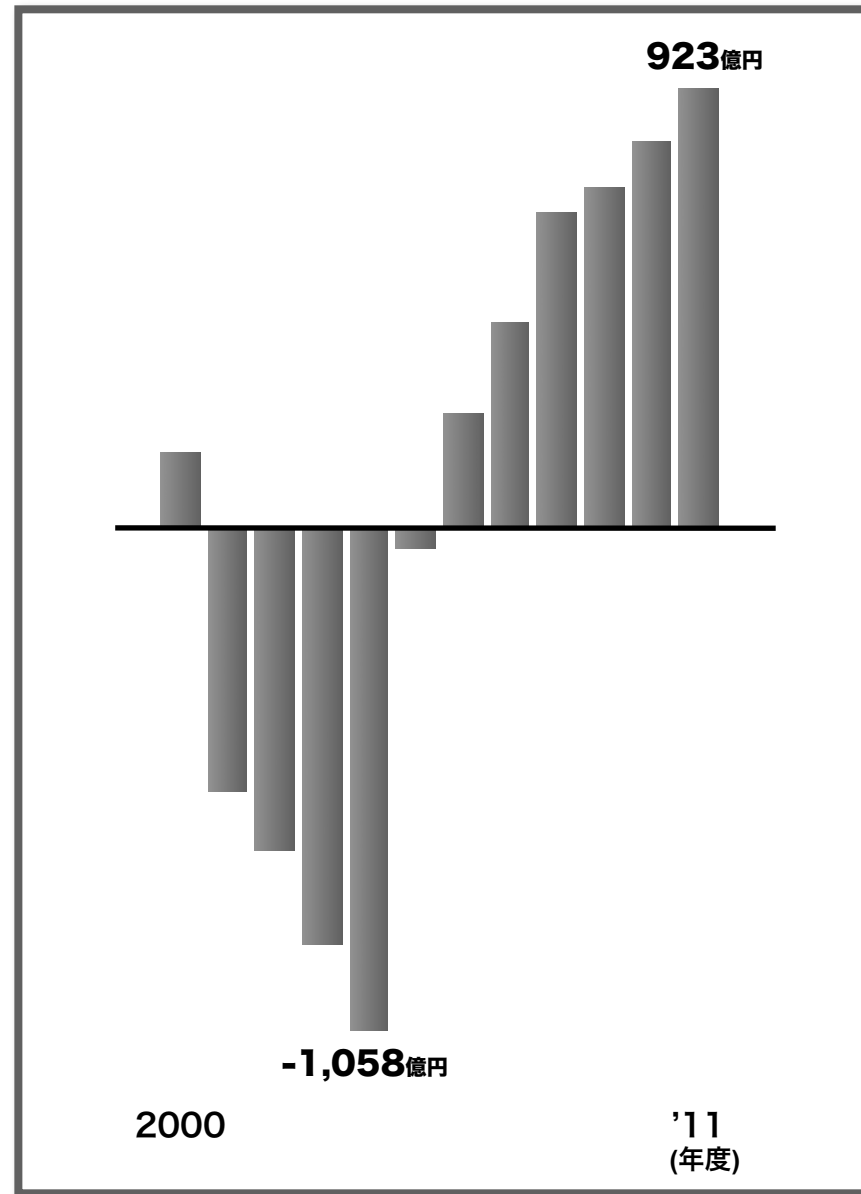
モバイル設備投資



世界2位のスケールメリット



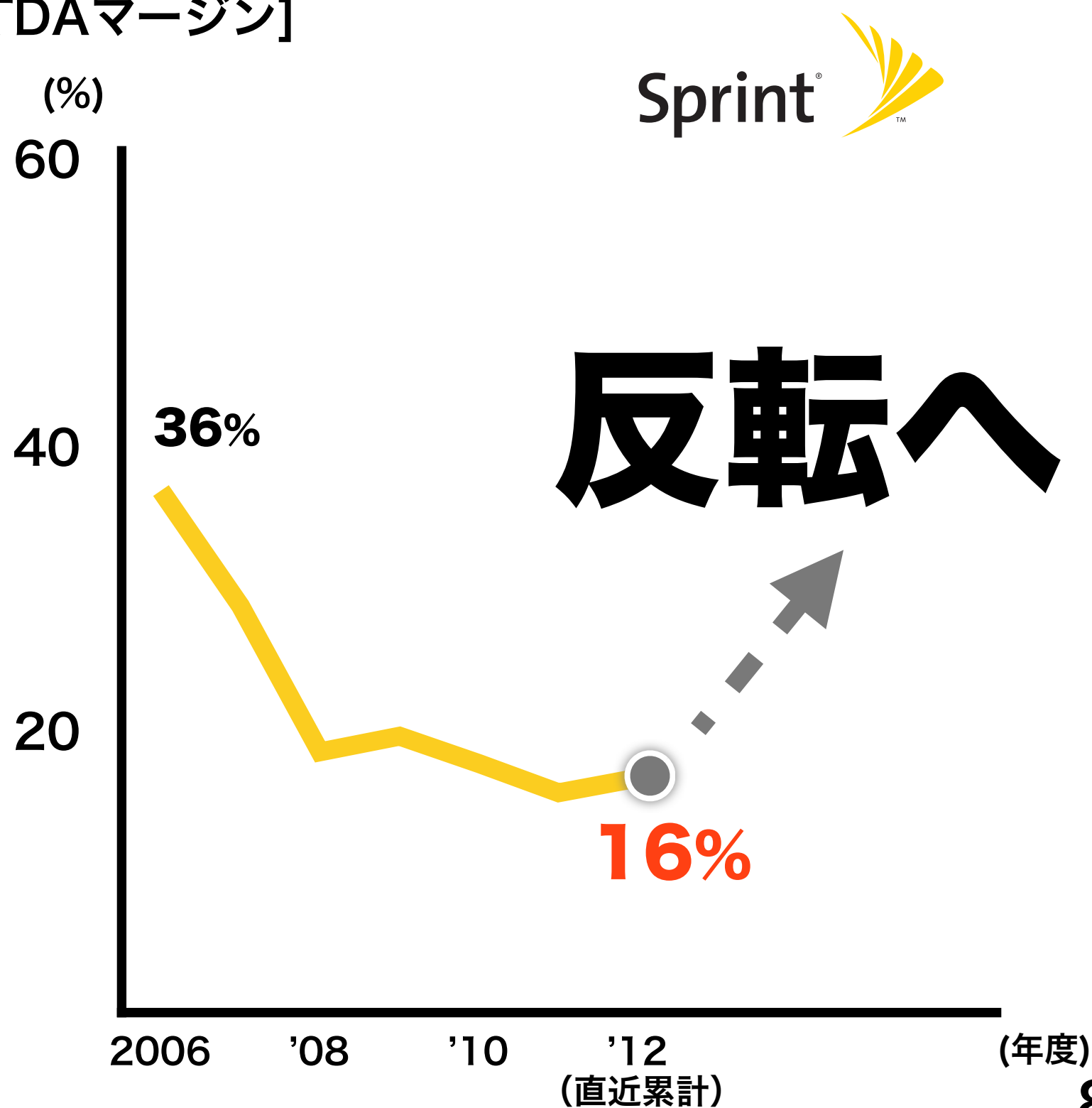
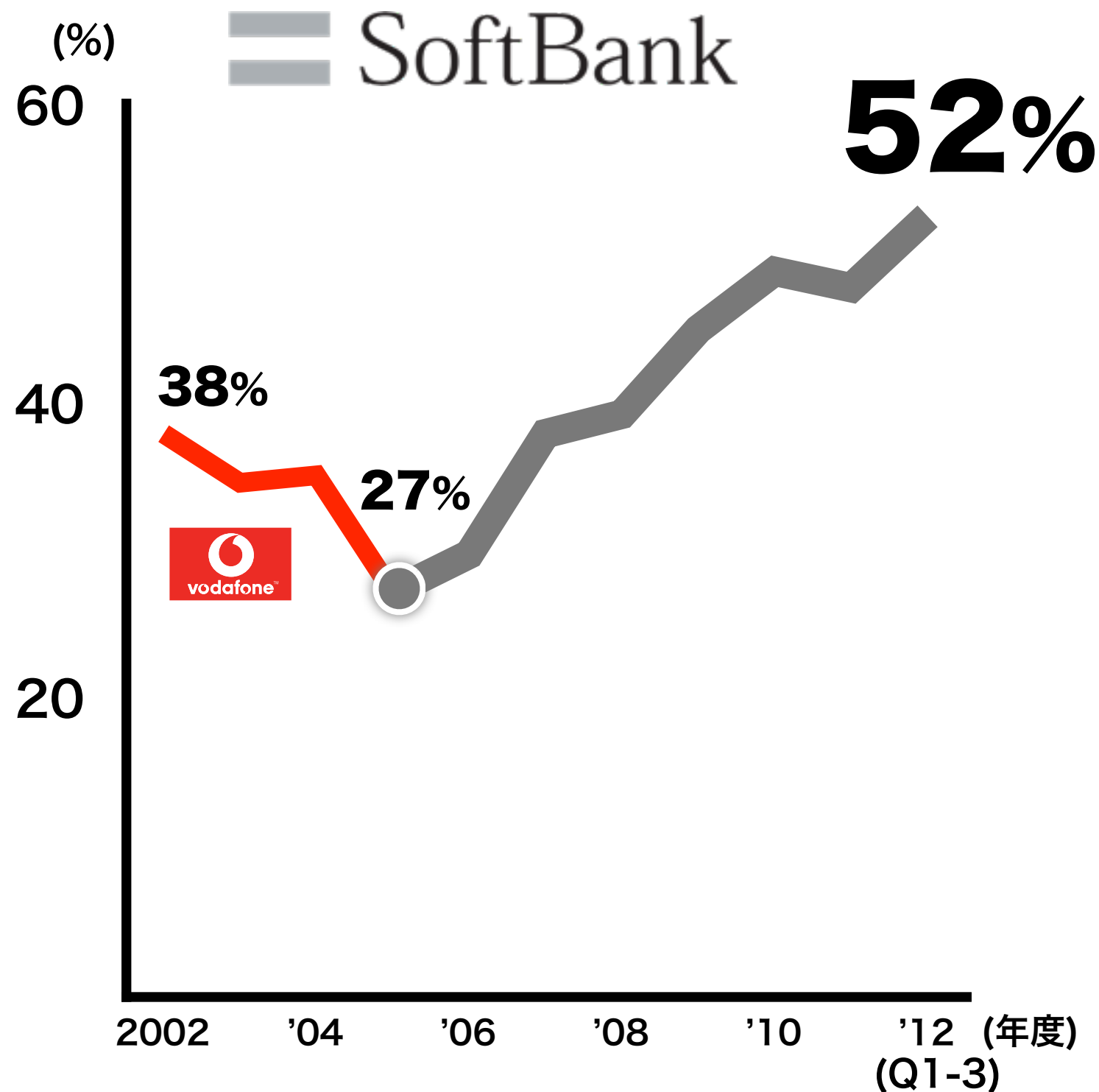
※ソフトバンク + Sprintは2012年度予想
Verizon、AT&Tは2012年度実績
その他は2011年度実績
各社開示資料を基に当社算出



ソフトバンク V字回復のノウハウ

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]



※モバイルEBITDAマージン=移動体事業EBITDA/モバイル通信料売上

相互理解の促進へ



SoftBank



Sprint®





まとめ

1. **国内営業利益 8,000億円**
(2013年度)
2. **つながるソフトバンクへ**
3. **海外事業でさらなる飛躍へ**



SoftBank

1. 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

2010年度第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しています。2009年度の業績は、これらの基準が適用されていたと仮定して算出した数値を掲載しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支)=営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額

純有利子負債=有利子負債-手元流動性

有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債(銘柄: WBS Class B2 Funding Notes、発行体: J-WBSファンディング(株))のうち、当社が2009年度に取得した額面270億円を除く。手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券(当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

「過去最高」「最高益」は、当社が連結決算を開始した1994年度以降。

なお当社は、(株)ウィルコムが発行済株式を100%保有していますが、同社は会社更生法上の更生会社であり、当社と同社の間では有効な支配従属関係が存在しないと認められることから、子会社としていません。

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標 または商標です。本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。